

立川市緑の基本計画に係るアンケート調査結果について

目次

1	調査概要	2
1-1	調査目的	2
1-2	調査対象	2
1-3	抽出方法	2
1-4	調査回収	2
1-5	調査期間	2
1-6	調査主体	2
1-7	回収結果	2
1-8	集計における注意点	2
1-9	標準偏差について	3
1-10	調査結果の概要	4
2	集計結果	7
2-1	回答者の属性	7
2-2	立川市内の緑について	12
2-3	お住まいの地域の公園について	18
2-4	今後の緑の保全と創出について	38
3	クロス集計結果	52
3-1	グリーンインフラの考え方における社会課題について	52
3-2	立川に住み続ける意向について	53
3-3	公園の利活用について	55
3-4	地域別分析	60
4	考察	69
4-1	立川市内の緑について	69
4-2	お住まいの地域の公園について	75
4-3	その他	76
	【参考】立川市緑の基本計画に係るアンケート調査 調査票	77

1 調査概要

1 - 1 調査目的

「立川市緑の基本計画」を改定するにあたり、立川市内の緑、お住まいの地域の公園、今後の緑の保全・創出について、市民の皆様の意見や意向を把握する。

1 - 2 調査対象

立川市に住民票を有する令和5年12月1日現在で満18歳以上の男女 2,000人

1 - 3 抽出方法

無作為抽出

1 - 4 調査回収

郵送調査法、無記名方式

インターネット Logo フォーム、無記名方式

1 - 5 調査期間

令和5年12月19日調査票発送から令和6年1月10日回答投函締切

注) Logo フォームについての集計は令和6年1月10日までの回答で集計し、郵送回収については令和6年1月18日までに回収されたもので集計を行っている。

1 - 6 調査主体

立川市（公園緑地課）

1 - 7 回収結果

有効回収数：郵送調査 474 件、Logo フォーム 141 件 合計 615 件

有効回収率：30.8%（前回 33.2%）

1 - 8 集計における注意点

グラフや表中の数値（%）は、小数第2位を四捨五入して表示しているため、選択肢の数値の合計が100%とならない場合がある。

1 - 9 標準偏差について

標本調査を行ったため、調査結果には、統計上の誤差（標準誤差）が生じる。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}} \quad (N: \text{母集団数}, n: \text{サンプル数(有効回答数)}, p: \text{回答比率})$$

母集団数（令和5年12月1日現在の立川市の18歳以上の人口）は、159,994人。

回答比率 (p) n	90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	60%または 40%程度	50%程度
615	±2.0%	±2.7%	±3.1%	±3.3%	±3.4%
600	±2.0%	±2.7%	±3.1%	±3.3%	±3.4%
500	±2.3%	±3.1%	±3.6%	±3.8%	±3.9%
400	±2.7%	±3.6%	±4.1%	±4.4%	±4.5%
300	±3.2%	±4.3%	±4.9%	±5.2%	±5.3%
200	±4.0%	±5.4%	±6.1%	±6.6%	±6.7%
100	±5.8%	±7.8%	±8.9%	±9.6%	±9.7%
50	±8.4%	±11.2%	±12.8%	±13.7%	±14.0%

母集団の算出

総人口 185,763 人（総人口） - 25,769 人（0歳から17歳） = 159,994 人（18歳以上）

（令和5年12月1日現在 立川市住民基本台帳年齢別人口より）

標本誤差は、標本から測定された統計量の標準偏差であり、標本統計量の精度を表します。一般的なアンケート調査は標本誤差が5%程度とされていることから、標本誤差が5%以下となるように設定しました。

信頼率は、一定の頻度（割合）のもとで回答数が母集団の平均に含まれると推定された区間のことです。今回の調査では100回繰り返した結果が95回程度、結果の平均の範囲内に含まれるよう、信頼率を95%に設定しました。

上記の条件設定から求められる必要サンプル数は384人以上となります（母数159,994人、要求精度5%、信頼率95%の場合）。なお、信頼率を99%と設定した場合の必要なサンプル数は661人です。

以上より、統計上400人の標本を収集すれば調査対象のニーズをほぼ把握できると判断できますが、調査の精度を上げるため、今回の調査では標本回収目標数を600人と設定しました。

実際の回収数は615件あり、標本誤差5%信頼率95%とした場合の384人を上回る精度となりました。信頼率99%の場合の661人には達していませんが、十分な精度を確保できるものと言えます。

1 - 10 調査結果の概要

設問の構成と調査結果（単純集計）の概要を以下にまとめる。

内容	設問項目	形式	結果概要
属性 ・クロス集計 の分析用	問1～問6 性別、年代、市内での居住年数、居住 地区、住まいの種類、今後も住み続け たいか	選択式 単一回 答	-
立川市内の緑 について 現状認識の把握 (緑の豊かさ) ・市民の現状 認識の把握(デ ータとのギャ ップの分析)	問7 お住まいの地域における緑・水辺 の豊かさ 〔選択肢〕 樹林など自然の緑 身近な公園の緑 住宅地の緑 商業地の緑 農地の緑 道路の緑(街路樹など) 水路などの水辺 多い～少ないの5段階	選択式 単一回 答	・「多い・やや多い」が4割を超 えるのは 「樹林など自然の緑」 「身近な公園の緑」 「水路などの水辺」 ・緑の豊かさの感じ方の傾向は 前回の結果と同様
	問8 立川市全体の緑・水辺の豊かさ 〔選択肢〕 樹林など自然の緑 身近な公園の緑 住宅地の緑 商業地の緑 農地の緑 道路の緑(街路樹など) 水路などの水辺 多い～少ないの5段階	選択式 単一回 答	・「多い・やや多い」が4割を超 えるのは 「樹林など自然の緑」 「身近な公園の緑」 「水路などの水辺」 ・緑の豊かさの感じ方の傾向は 前回の結果と同様
	問9 10年前と比較した立川市全体の 緑の量 〔選択肢〕 樹林など自然の緑 身近な公園の緑 住宅地の緑 商業地の緑 農地の緑 道路の緑(街路樹など) 水路などの水辺 増えている～減っているの5段階	選択式 単一回 答	・全項目で「10年前と変わらない」が最多 ・「やや減っている・減っている」 が、全項目で「増えている・や や増えている」を上回る ・「増えている・やや増えている」 は、「商業地の緑」で最多 ・「やや減っている・減っている」 は、「農地の緑」で最多
お住まいの地 域の公園につ いて 身近な公園に 対する認識の 把握 ・公園の現状	問10 身近な公園の利用頻度 〔選択肢〕 ほぼ毎日、週2～3回、週1回、 月2～3回、月1回、年に数回、 年に1回、数年に1回、ほとん ど利用しない	選択式 単一回 答	・「ほとんど利用しない」が最多 ・月1回以上の合計は、「ほとん ど利用しない」を上回る ・前回調査より月1回以上の合 計が6.2pt増加し、「ほとんど 利用しない」は5.3pt減少
	問11 公園の利用目的 〔選択肢〕 散歩、子どもを遊ばせる、友人 と遊ぶ、軽い運動、花や自然を 楽しむ、休む、施設を利用、催 し物に参加、犬の散歩、植物の 手入れや清掃、通り道、その他	選択式 複数回 答	・「散歩」が最多。次いで、「通り 道」、「花や自然を楽しむ」 ・前回調査より「散歩」が11.1pt 増加。「催し物に参加」は5.4pt 減少、「子供を遊ばせる」は 5.2pt減少

内容	設問項目	形式	結果概要
評価の把握	問 12 よく行く近くの公園	自由記入	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単独の公園では国営昭和記念公園が 108 件で最多 ・ 次いで「立川公園（根川緑道・ガニガラ広場）」19 件、「御影橋公園」10 件
	問 13 問 12 の公園への交通手段 〔選択肢〕 徒歩、自転車、公共交通機関（バス・電車）、自家用車	選択式単一回答	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「徒歩」約 4.5 割、「自転車」約 1 割、「公共交通機関（バス・電車）」0.1 割未満、「自家用車」約 0.2 割
	問 14 問 12 の公園へ誰と行くか 〔選択肢〕 一人で、子供と、夫婦で、孫と、親と、友達と、近所の人と	選択式単一回答	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「1 人で」約 3 割、「子供と」1 割強、「夫婦で」約 1 割、「孫と」約 0.4 割、「友達と」約 0.3 割、「近所の人と」約 0.2 割、「親と」0.1 割未満
	問 15 問 12 の公園のよいところ 〔選択肢〕 広い、花や緑が豊か、樹木や草木が手入れされている、遊具の充実、休憩場所が充実、見通しよく安心、施設が使いやすい、ゴミが少ない、ルールやマナーがよい、近い、利用者が多く賑やか、特にない、その他	選択式複数回答	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「近い」4 割強、「広い」3 割強、「花や緑が豊か」は 3 割弱 ・ 前回調査と比べ回答割合の順序は基本変化ないが、「休憩場所が充実」のみ 3 ランク下がり下から 2 番目となった
	問 16 身近な公園について不満を感じるところ 〔選択肢〕 狭い、花や緑が少ない、樹木や草木が手入れが悪い、遊具が少ない、休憩場所が少ない、見通し悪く不安、施設が使いづらい、ゴミが多い、ルールやマナーが守られない、禁止事項が多い、遠い、利用者が少ない、特にない、その他	選択式複数回答	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「特に不満はない」が最多（35.8%）。次いで、「狭い」（16.1%）、「遊具が少ない」（14.5%）、「休憩場所が少ない」（13.7%）、「花や緑が少ない」（12.0%） ・ 「特に不満はない」が前回調査より 10.6pt 増加
今後の緑の保全と創出について 社会課題の把握	問 17 立川市において重要と考えられる社会課題 〔選択肢〕 子育て、保健・福祉、災害に強い都市の形成、暑熱対策、生物多様性、ゼロカーボン、にぎわい、コミュニティ、歴史文化、良好な景観	選択式複数回答	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「子育て」と「災害に強い都市の形成」が 5 割弱で最も回答が多い ・ 次いで「暑熱対策」4 割強、「良好な景観」と「保健・福祉」が 4 割弱
	参考（前回調査）緑に期待する役割 〔選択肢〕 憩いの場、歴史文化、レクリエーション、健康増進、生物多様性、にぎわいとやすらぎのある景観、都市環境の緩和、災害に強い都市	選択式複数回答	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民が重視している緑の役割では、「憩いの場」約 6 割、「都市環境の緩和」5 割弱、「災害に強い都市」4 割強

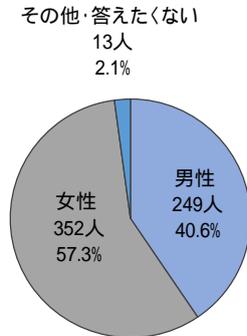
内容	設問項目	形式	結果概要
市の公園緑地 施策が目指す べき方向	問 18 次世代に引き継いでいきたい緑 〔選択肢〕雑木林、崖線の緑と湧水、多摩川の水辺環境、玉川上水と分水、農地・屋敷林・社寺林、公園の緑、緑道や街路樹、住宅地の緑、立川駅周辺、その他	選択式 複数回答	・「公園の緑」が7割強で最も多く、4割強が「玉川上水と分水」「多摩川の水辺環境」「道路や街路樹」
	問 19 今後緑が増えるとよい緑 〔選択肢〕樹林などの自然、身近な公園の緑、住宅地の緑、商業地の緑、農地の緑、道路の緑（街路樹など）、河川・水路、その他	選択式 複数回答	・「身近な公園の緑」が約4.5割で最多 ・次いで「樹林などの自然」「道路の緑（街路樹など）」が4割前後
市の公園緑地 施策が目指す べき方向 ・今後の市の 施策に対する ニーズの把握	問 20 緑豊かなまちづくりを進めるために市民一人一人が出来ることとして必要だと思う取組 〔選択肢〕庭やベランダで緑を育てる、ブロック塀を生垣に変える、地域ぐるみで緑化、身近な花壇などで花の育成、公園緑地での清掃等、樹林地の保全活動、市民農園利用や野菜購入を通じた農地保全への協力、イベント・講習会に参加、募金、できることはない、その他 前回調査は「あなた自身が出来る」取組について伺った	選択式 複数回答	・「市民農園利用や野菜購入を通じた農地保全への協力」、「庭やベランダで緑を育てる」「樹林地の保全活動に協力する」が上位3位 ・「あなた自身が出来る」取組について伺った前回調査と比べ、「樹林地の保全活動」が12.5pt増加、「市民農園利用や野菜購入を通じた農地保全への協力」が5.1pt増加 ・前回最多であった「庭やベランダで緑を育てる」は24.0pt減少 ・参加型の取組が増加
	問 21 緑豊かなまちづくりを進めるための立川市の取組で今後重要視すること 〔選択肢〕貴重な樹林や樹木の保全、崖線の緑の保全、河川環境や玉川上水・分水の水辺の保全、サンサンロード他緑のネットワーク、農地や屋敷林の保全、新しい公園整備、既存公園の再整備・改修、道路緑化と維持管理、公共施設緑化と維持管理、住宅地や企業地の緑化支援、開発時の緑化誘導、公園などと管理する団体育成、市民事業者と連携による公園の管理・活用、普及啓発、生きもの生息場所の保全・創出 重要～重要でないの5段階	選択式 単一回答	・「重要・やや重要」が7割を超えるのは「貴重な樹木や樹木の保全」「河川環境や玉川上水・分水の水辺の保全」 ・「あまり重要でない・重要でない」は「新しい公園」で最多
	問 22 その他立川市の緑・水辺に関する意見	自由 記入	・樹木や街路樹の維持管理が特に多い ・その他、子供の遊び場や遊具の整備に関する意見、市民とのコミュニケーションに関する意見が多い

2 集計結果

2 - 1 回答者の属性

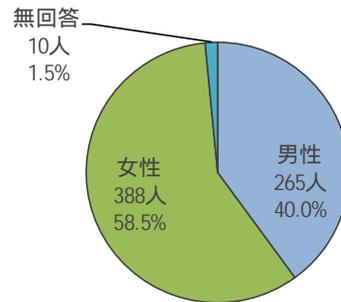
問(1) あなたの性別についてお聞かせください。(1つを選択)

(n = 615)

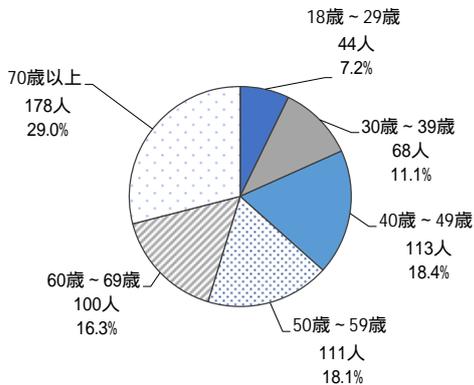


前回の結果

(n = 663)

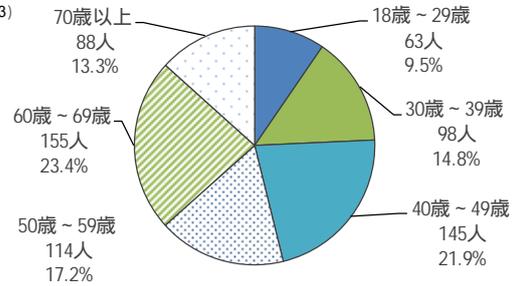


問(2) あなたの年齢(満年齢)についてお聞かせください。(1つを選択)



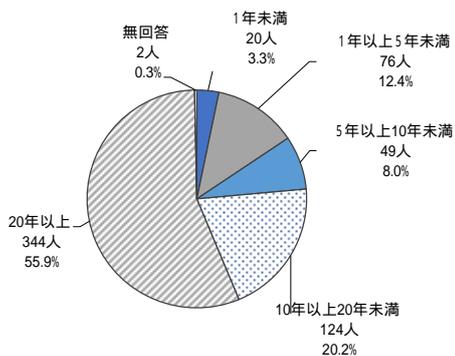
前回の結果

(n = 663)



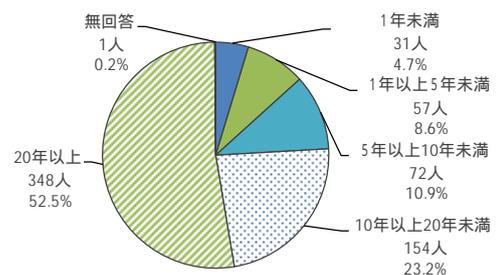
問(3) 立川市での居住年数についてお聞かせください。(1つを選択)

(n = 615)



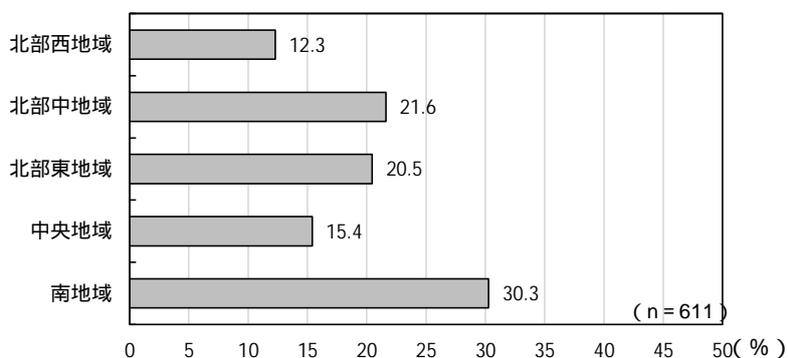
前回の結果

(n = 663)

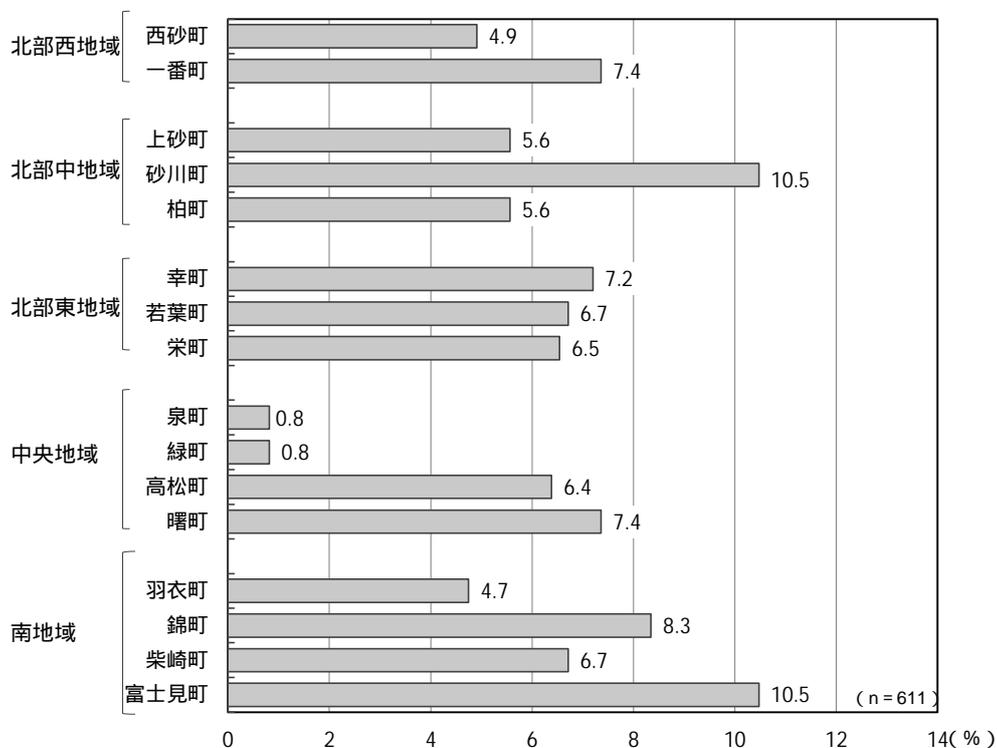


問(4) あなたが現在【お住まいの地域】についてお聞かせください。

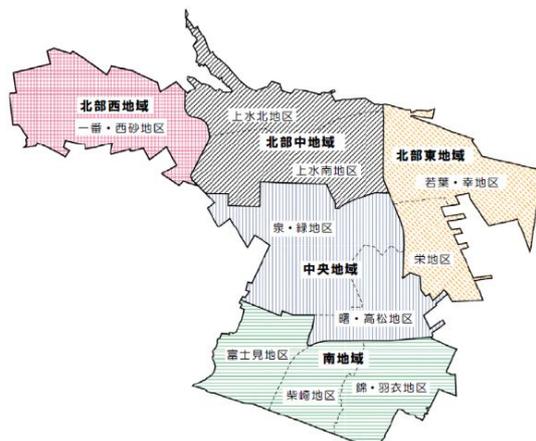
(1つを選択)



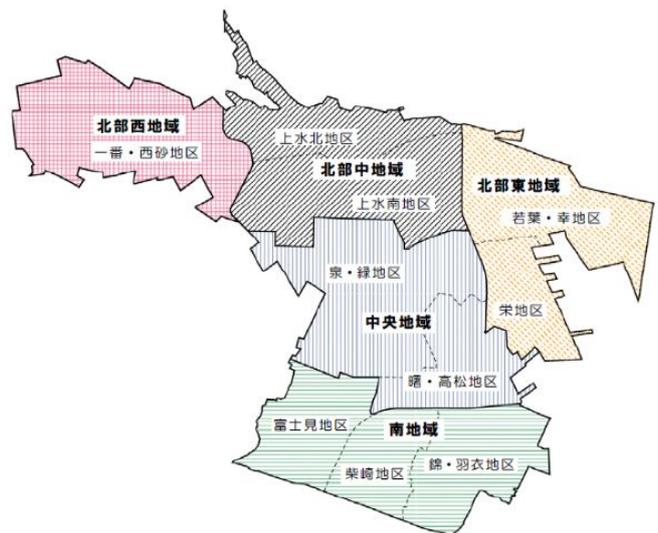
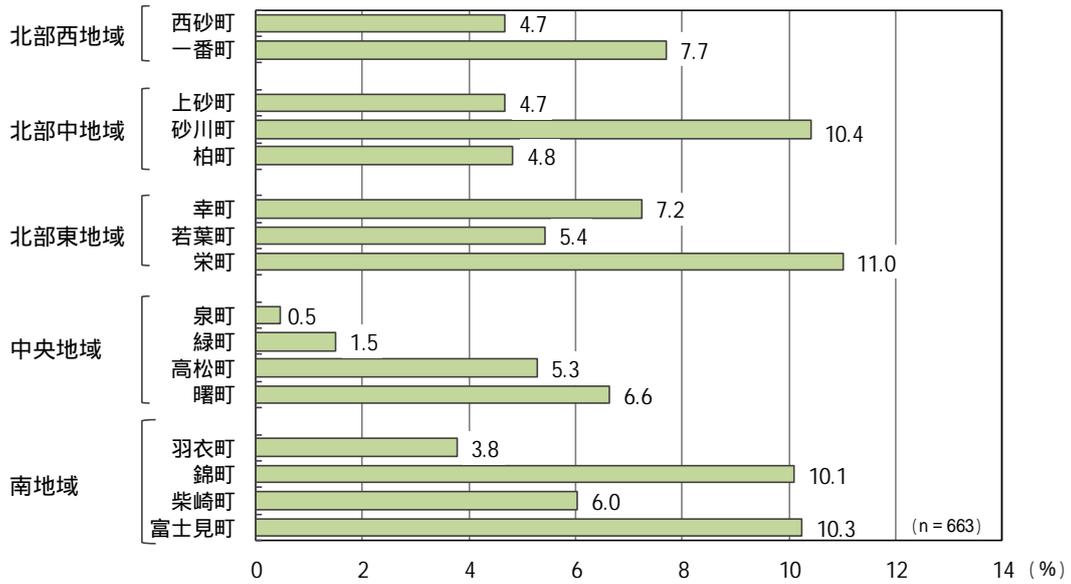
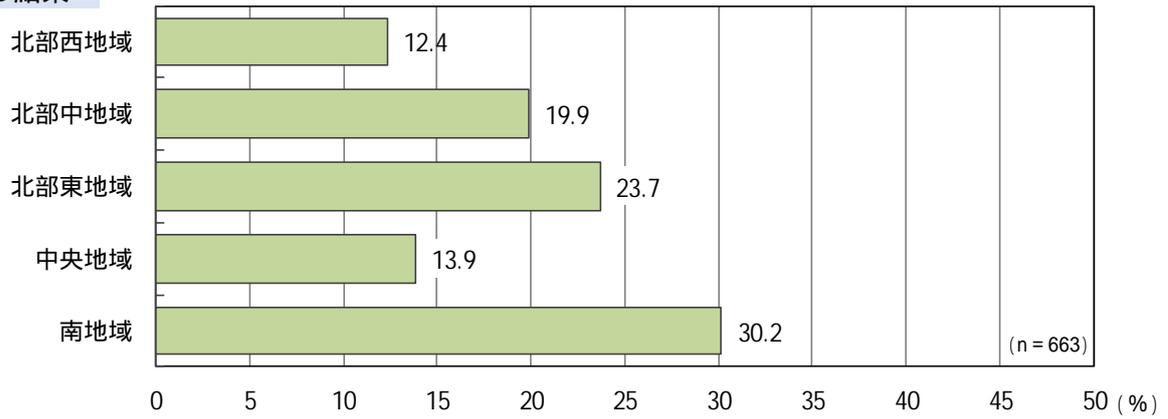
(注: 無回答数の4を除いた集計)



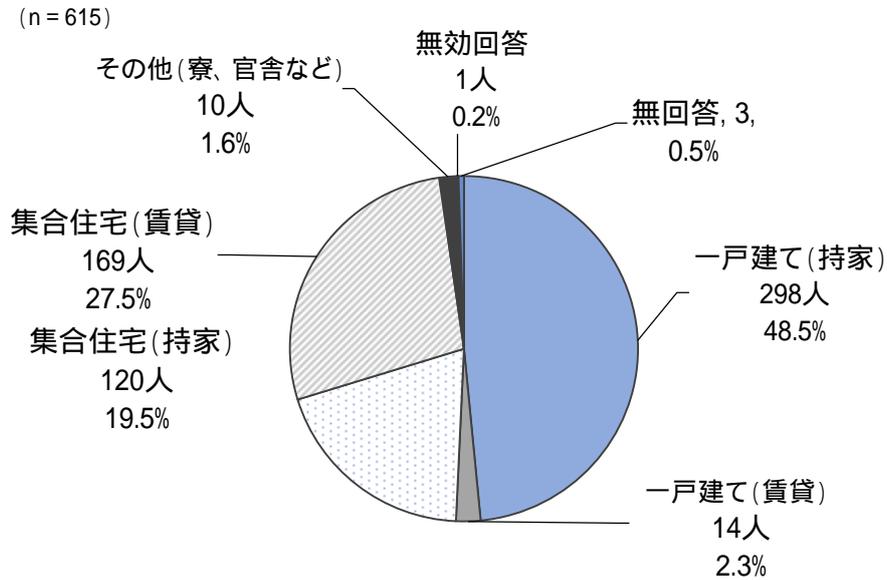
(注: 無回答数の4を除いた集計)



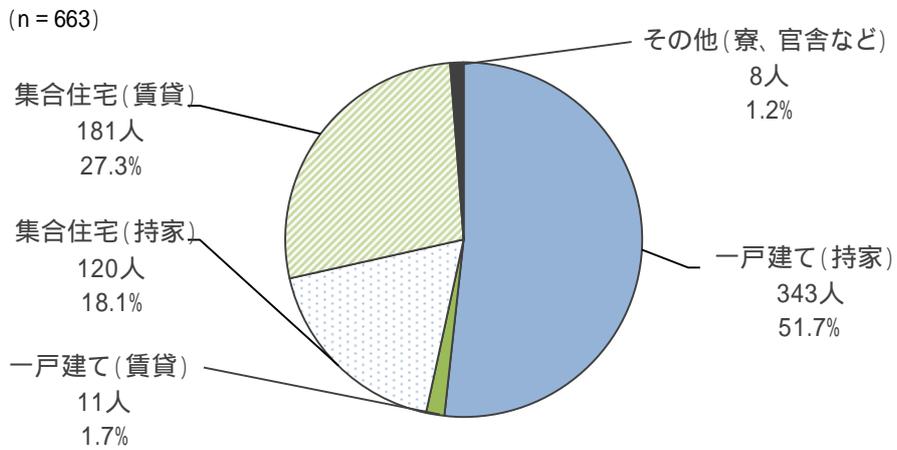
前回の結果



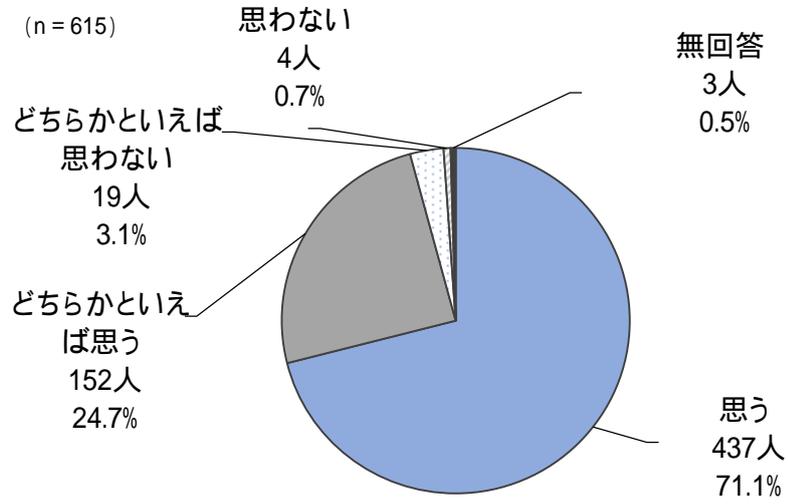
問(5) お住まいの種類についてお聞かせください。(1つを選択)



前回の結果



問(6) あなたは、これからも立川市に住み続けたいと思いますか。(1つを選択)

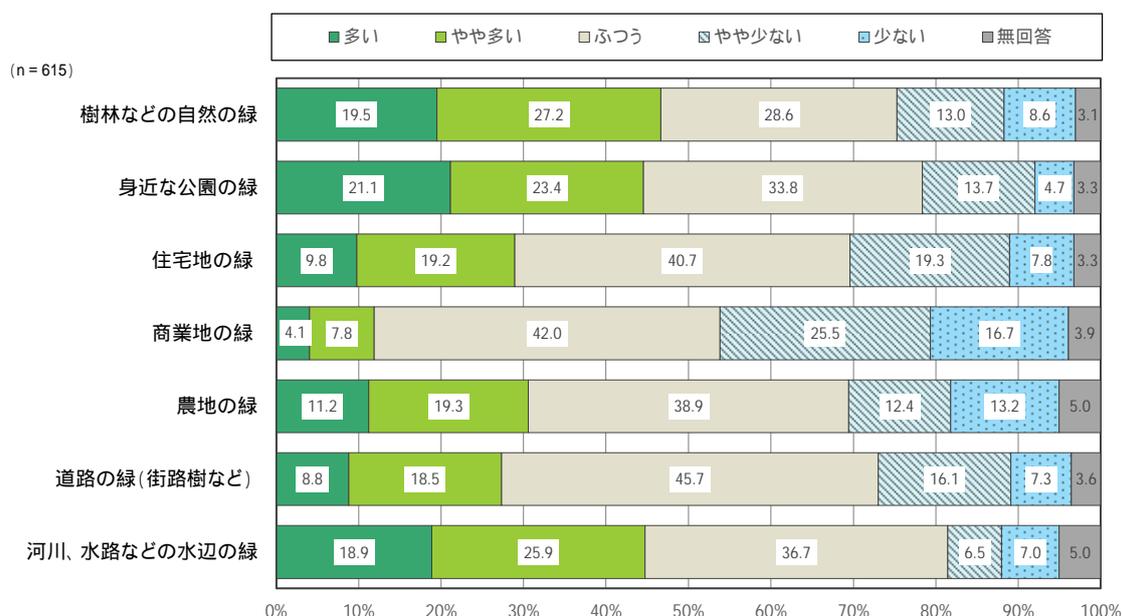


2 - 2 立川市内の緑について

問(7) あなたは、【お住まいの地域】の現在の緑の豊かさをどのように感じていますか。お住まいの地域は、ご自宅の近所（概ね設問(4)で選択した地域）をイメージしてください。（項目ごとに1つを選択）

お住いの地域の現在の緑の豊かさについて、「多い」・「やや多い」の合計は「樹林などの自然の緑」(46.7%)、「身近な公園の緑」(44.5%)及び「河川、水路の水辺の緑」(44.8%)で高くなっています。

「やや少ない」・「少ない」の合計は「商業地の緑」(42.2%)で最も高くなっています。



前回と比較して、「多い」・「やや多い」の合計は「樹林などの自然の緑」4.1ポイント増、「身近な公園の緑」3.0ポイント増、及び「河川、水路の水辺の緑」0.9ポイント増となっています。

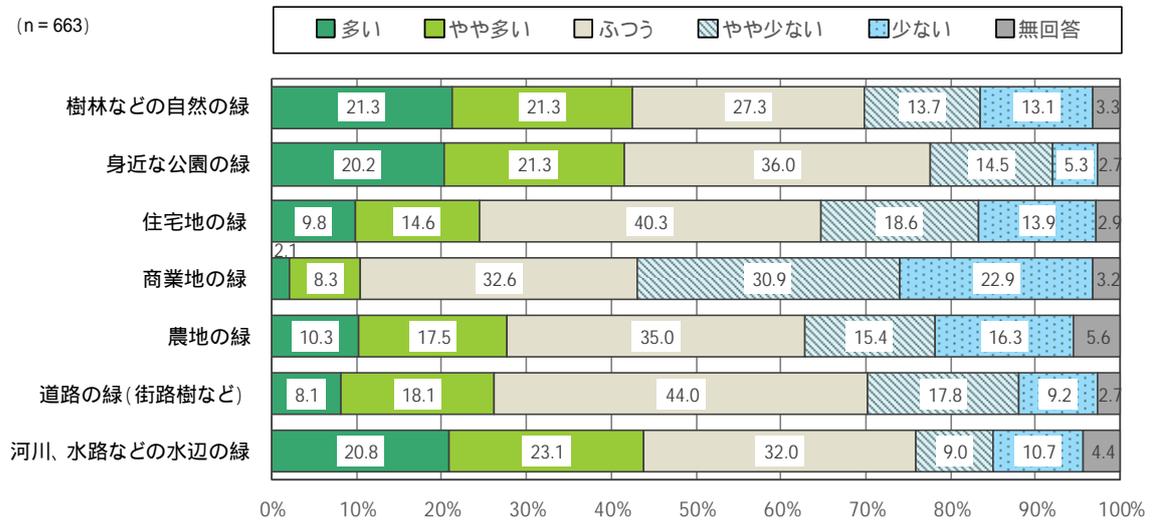
「やや少ない」・「少ない」の合計は「商業地の緑」で11.6ポイント減少しています。

前回の結果

お住いの地域の現在の緑の豊かさについて、「多い」・「やや多い」の合計は「樹林などの自然の緑」(42.6%)、「身近な公園の緑」(41.5%)及び「河川、水路の水辺の緑」(43.9%)で高くなっています。

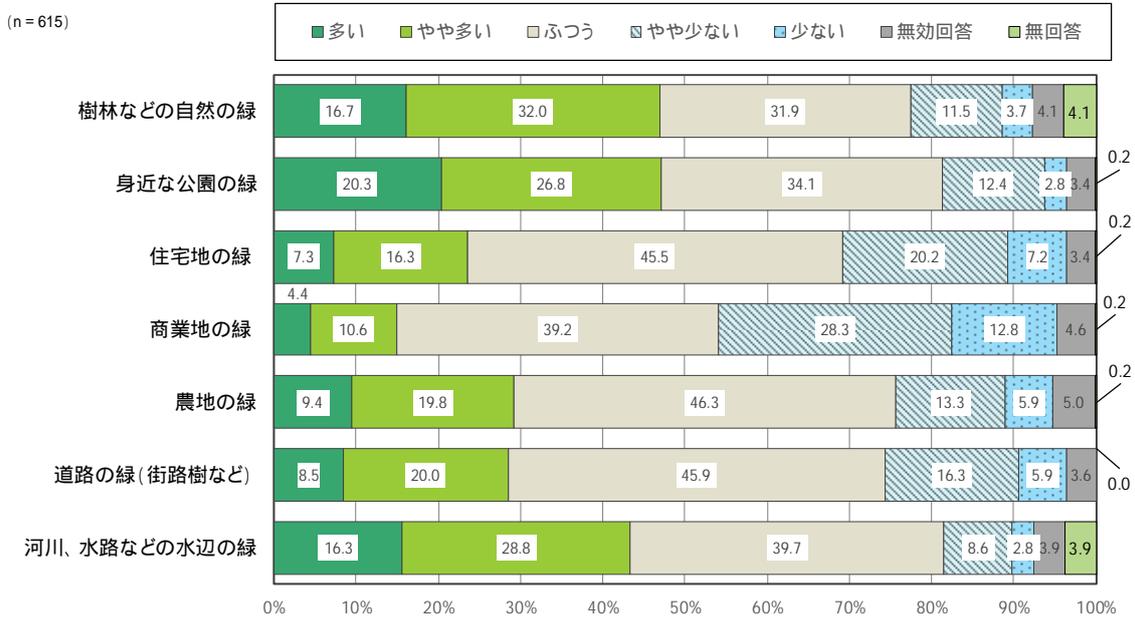
「やや少ない」・「少ない」の合計は「商業地の緑」(53.8%)で最も高くなっています。

(n = 663)



問(8) あなたは、【立川市全体】の現在の緑の豊かさをどのように感じていますか。
(項目ごとに1つを選択)

立川市全体の現在の緑の豊かさについて、「多い」・「やや多い」の合計が「樹林などの自然の緑」(48.7%)、「身近な公園のみどり」(47.1%)及び「河川、水路などの水辺の緑」(45.1%)で高くなっています。
「やや少ない」・「少ない」の合計が「商業地の緑」(44.1%)で高くなっています。



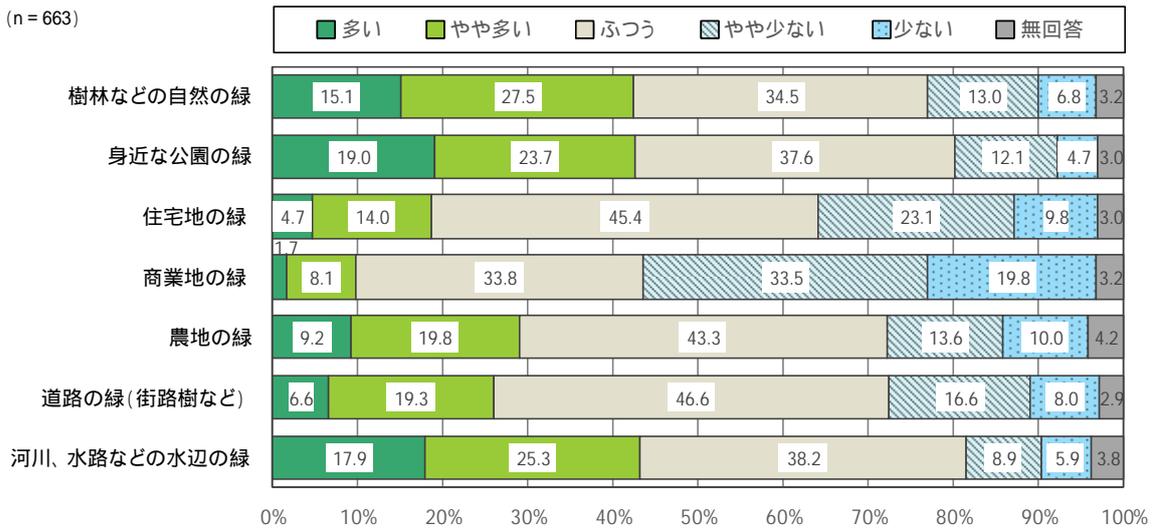
前回と比較して、「多い」・「やや多い」の合計は「樹林などの自然の緑」6.1ポイント増、「身近な公園の緑」4.4ポイント増、及び「河川、水路の水辺の緑」1.9ポイント増となっています。
「やや少ない」・「少ない」の合計は「商業地の緑」で9.2ポイント減少しています。

前回の結果

立川市全体の現在の緑の豊かさについて、「多い」・「やや多い」の合計が「樹林などの自然の緑（42.6%）」「身近な公園のみどり（42.7%）及び「河川、水路などの水辺の緑（43.2%）」で高くなっています。

「やや少ない」・「少ない」の合計が「商業地の緑」（53.3%）で高くなっています。

(n = 663)

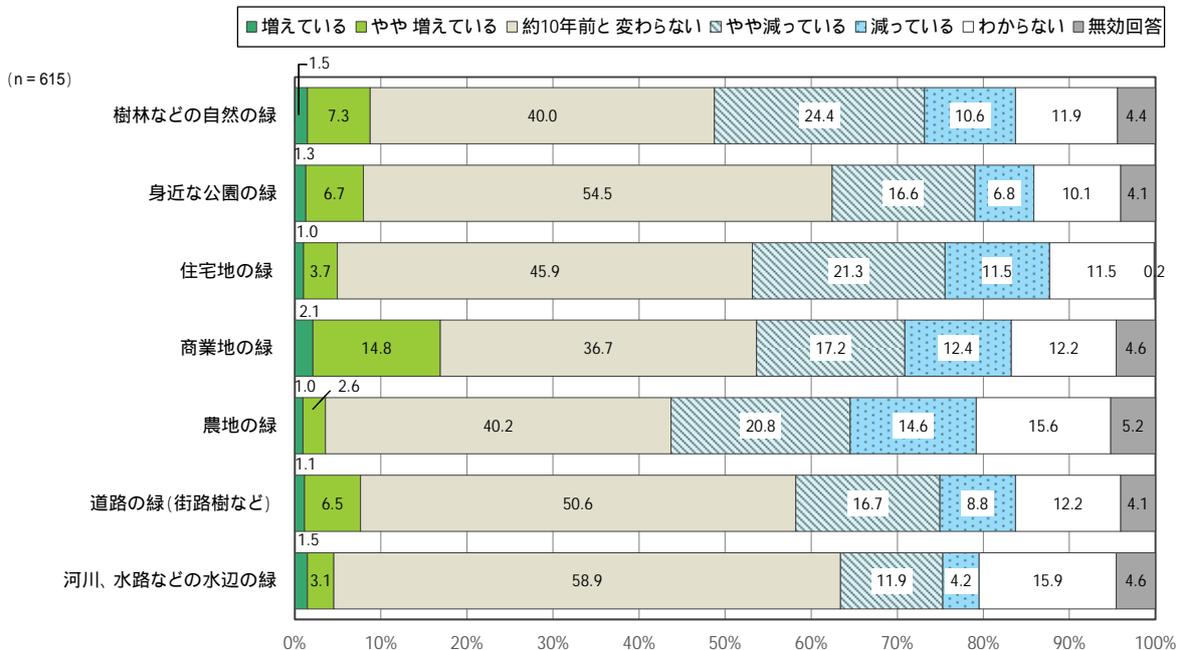


問(9) 約10年前(10年以内に引っ越してこられた方はその時から)と比べて、
【立川市全体】の緑の量は増えていると思いますか。(項目ごとに1つを選択)

全ての項目で「10年前と変わらない」が最も多くなっています。また、「やや減っている」・
「減っている」の合計が、全ての項目で「増えている」・「やや増えている」の合計を上回っ
ています。

「増えている」・「やや増えている」の合計は、「商業地の緑」(16.9%)で最も高くなっ
ています。

「やや減っている」・「減っている」の合計は、「農地の緑」(35.4%)で最も高くなっ
ています。



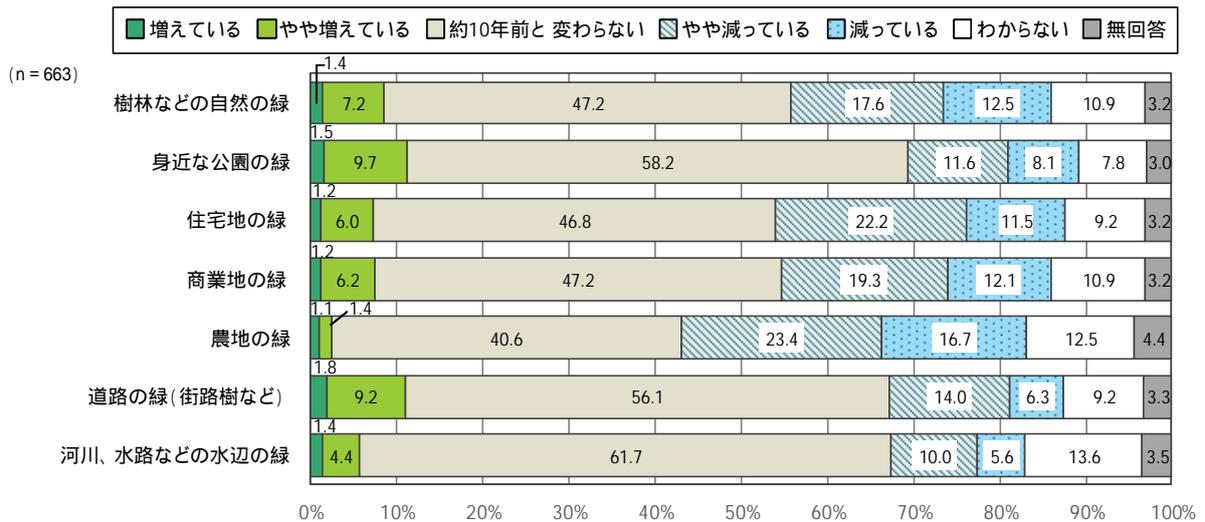
前回と比較して、「商業地の緑」は「増えている」・「やや増えている」の合計が9.5ポ
イント増加し、「やや減っている」・「減っている」の合計が1.8ポイント減少しました。

「やや減っている」・「減っている」の合計が増加したものは「道路の緑(街路樹など)」
5.2ポイント、「樹林などの自然の緑」4.9ポイント、「身近な公園の緑」3.7ポイントで
す。

前回の結果

全ての項目で「10年前と変わらない」が最も多くなっています。また、「やや減っている」・「減っている」の合計が、全ての項目で「増えている」・「やや増えている」の合計を上回っています。

「やや減っている」・「減っている」の合計は、「農地の緑」(40.1%)で最も高くなっています。

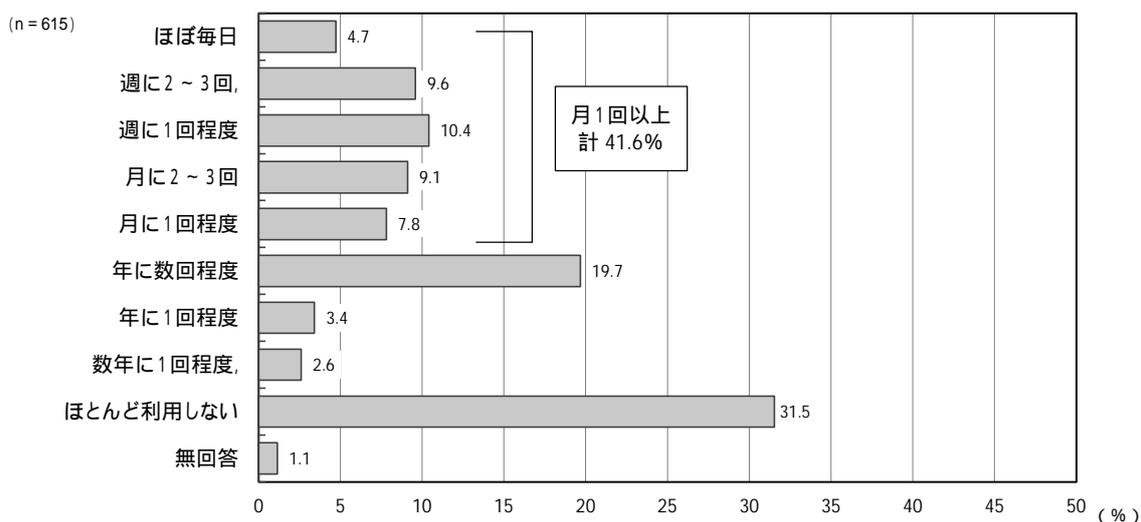


2 - 3 お住まいの地域の公園について

問(10) あなたは、【お住まいの地域】の公園をどのくらいの頻度で利用していますか。(1つを選択)

お住いの地域の公園の利用頻度について、「ほとんど利用しない」(31.5%)の割合が最も高くなっています。

「ほぼ毎日」、「週に2~3回」、「週に1回程度」、「月に2~3回」、「月に1回程度」の合計の割合は41.6%となっており、「ほとんど利用しない」の割合よりも月1回以上公園を利用する人の割合が10.1%上回っています。

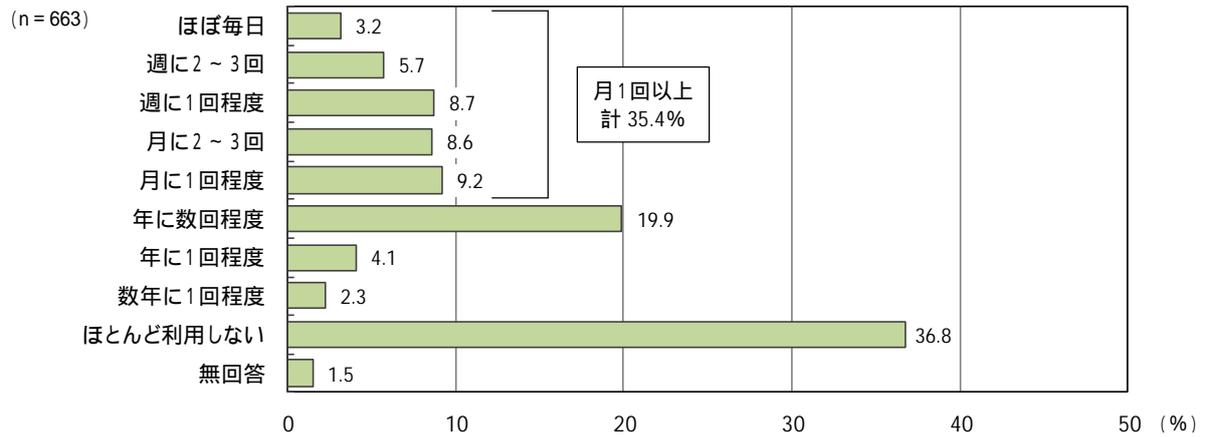


前回と比較して、「月1回以上」公園を利用する人の合計が6.2ポイント増加し、「ほとんど利用しない」は5.3ポイント減少しました。

前回の結果

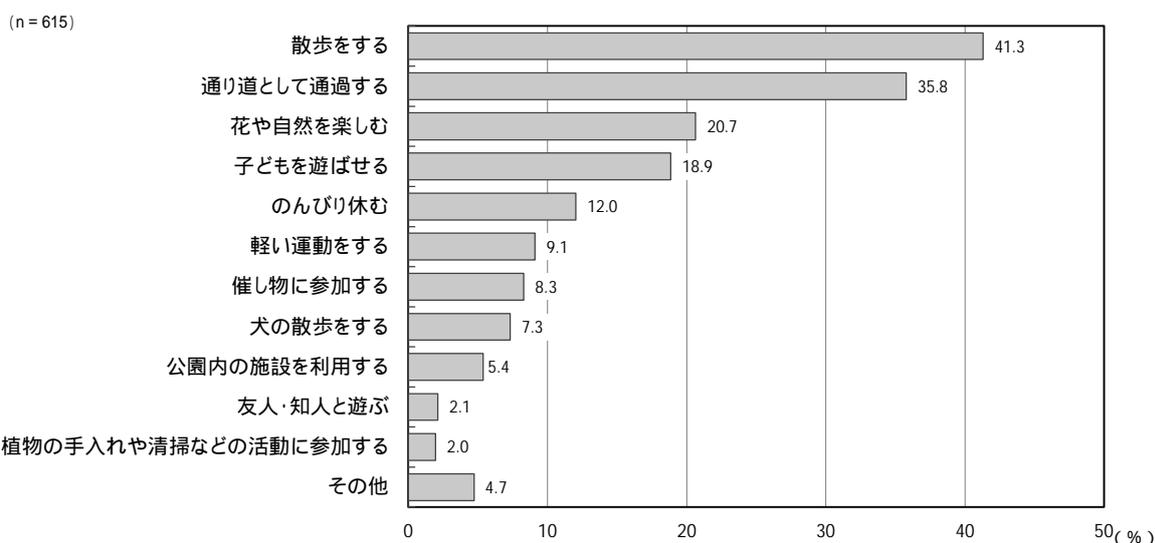
お住いの地域の公園の利用頻度について、「ほとんど利用しない」(36.8%)の割合が最も高くなっています。

「ほぼ毎日」、「週に2~3回」、「週に1回程度」、「月に2~3回」、「月に1回程度」の合計の割合は、35.4%となっており、「ほとんど利用しない」の割合と同程度の人が月1回以上公園を利用しています。



問(11) あなたは、【お住まいの地域】の公園で主に何をしますか。(複数選択可)

お住まいの地域の公園の利用目的は、「散歩をする」(41.3%)の割合が最も高くなっています。次いで、「通り道として通過する」(35.8%)、「花や自然を楽しむ」(20.7%)となっています。



その他の意見

意見の内容	件数
ボランティア	1
町会活動	1
野鳥探鳥&撮影	1
散歩出来ない、歩けないので	1
今あまり行けない	1
子どもを育てあけてからは、公園に立ち入ることはなくなった。	1
公園へ行く機会がない。	1
近くにない。利用しない	1
全く行かない	1
利用しない	9

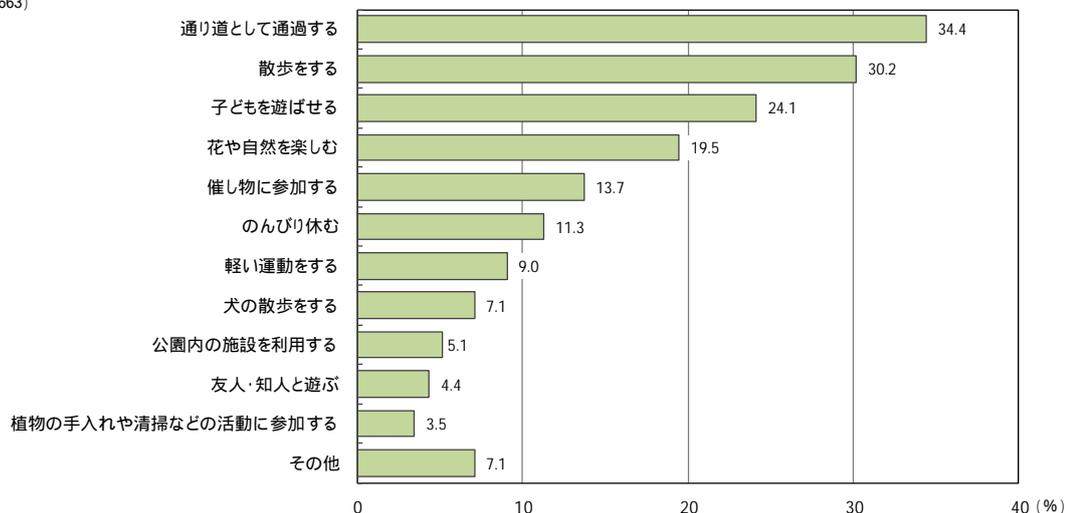
前回と比較して、「散歩をする」が11.1ポイント増加し、「通り道として通過する」は1.4ポイントの増加でした。

「催し物に参加する」は5.4ポイント減少し、「子供を遊ばせる」は5.2ポイント減少しました。

前回の結果

お住いの地域の公園の利用目的は、「通り道として通過する」(34.4%)の割合が最も高くなっています。次いで、「散歩をする」(30.2%)、「子どもを遊ばせる」(24.1%)となっています。

(n = 663)



その他の意見

意見の内容	件数
ポケモンGO	2
写真撮影	2
お花見	2
キャッチボールをする	1
スケッチをする、写真をとる	1
バーベキュー	1
ランニング	1
家から眺める	1
手洗いを利用する	1
除草、落葉清除、ゴミ除去、自主的	1
知人との待ち合わせ	1
通りすがりに四季の花をめぐる	1
通勤	1

意見の内容	件数
年に数回昭和記念公園に行く	1
俳句を作る	1
野草をつむ	1
隣り	1
近くに公園は無い	2
あまり利用しない	1
全く行かない	1
何もしない	1
公園の場所を知らない	1
利用していない	16

問(12)【お住まいの地域】であなたがよく利用する公園を一つ教えてください。

利用する公園が無い場合：未記入で(16)へ。公園名が分からない場合：○○町○丁目の公園とご記入ください。(自由記入)

設問(12)では、設問の回答を、「国営昭和記念公園」、「国営昭和記念公園と昭和記念公園以外の双方」、「国営昭和記念公園以外の公園(他市の公園を除く)」、「国営昭和記念公園以外の公園の複数回答」、「公園以外の回答(団地内の公園)」、「他市の公園」、「公園名称不明」、「無回答」に分け、アンケートの集計、分析を行っており、その値を用いて集計した。

よく利用する公園として、「国営昭和記念公園」が最も多く、「国営昭和記念公園(みどりの文化ゾーン含む)」108件、「国営昭和記念公園とそれ以外の公園の双方」11件で、合計119件です。国営昭和記念公園以外に多いものは、「立川公園(根川緑道)(ガニガラ広場)」19件、「見影橋公園」10件でした。

全体の回答件数

公園名	件数
1) 国営昭和記念公園(みどりの文化ゾーンを含む)	108
2) 国営昭和記念公園とそれ以外の公園の双方	11
3) 国営昭和記念公園以外の公園	167
4) 国営昭和記念公園以外の公園の複数回答	19
5) 公園以外の回答(団地内の公園)	11
6) 他市の公園	6
7) 公園の名称不明	49
8) 無回答	244
合計	615

1) 国営昭和記念公園(みどりの文化ゾーンを含む)

No	公園名	件数
1	国営昭和記念公園	106
2	国営昭和記念公園(みどりの文化ゾーン)	2

2) 国営昭和記念公園とそれ以外の公園の双方

No	公園名	件数
1	国営昭和記念公園、泉町西公園、むさしの公園（昭島市）	1
2	国営昭和記念公園、上砂三公園	1
3	国営昭和記念公園、玉川上水緑道、薬用植物園（小平市）	1
4	国営昭和記念公園、玉川上水緑道	1
5	国営昭和記念公園、江の島南公園、幸町5丁目公園	1
6	国営昭和記念公園、幸町5丁目公園	1
7	国営昭和記念公園、立川競輪場市民の丘	1
8	国営昭和記念公園、諏訪の森公園、立川公園ガニガラ広場	1
9	国営昭和記念公園、諏訪の森公園、立川公園根川緑道	1
10	国営昭和記念公園、諏訪の森公園	1
11	国営昭和記念公園、柴崎公園	1

3) 国営昭和記念公園以外の公園

No	公園名	公園種別	件数
1	立川公園ガニガラ広場	立川市都市公園	14
2	立川公園根川緑道	立川市都市公園	5
3	立川公園野球場	立川市都市公園	1
4	見影橋公園	立川市都市公園	10
5	諏訪の森公園	立川市都市公園	8
6	錦第二公園	立川市都市公園	8
7	若葉公園	立川市都市公園	7
8	松中公園	立川市都市公園	7
9	砂川公園	立川市都市公園	6
10	上砂公園	立川市都市公園	5
11	高砂公園	立川市都市公園	5
12	玉川上水緑道	立川市都市公園	4
13	南部公園	立川市都市公園	4
14	羽衣東公園	立川市都市公園	4
15	緑町北公園	立川市都市公園	4
16	東栄公園	立川市都市公園	4
17	幸五公園	立川市都市公園	3
18	下砂橋遊び場	立川市都市公園	3
19	泉町西公園	立川市都市公園	3
20	高松一こぶし公園	立川市都市公園	3

No	公園名	公園種別	件数
21	若葉緑地	立川市都市公園	3
22	多摩川緑地	立川市都市公園	3
23	富士見一東公園	立川市都市公園	2
24	立川競輪場市民の丘	立川市都市公園	2
25	柴西公園	立川市都市公園	2
26	錦五東公園	立川市都市公園	2
27	富士見第四公園	立川市都市公園	2
28	上砂三児童遊園	立川市都市公園	2
29	江の島公園	立川市都市公園	2
30	緑川第一公園	立川市都市公園	1
31	江の島道東公園	立川市都市公園	1
32	柏二中央公園	立川市都市公園	1
33	栄公園	立川市都市公園	1
34	たちかわ中央公園スケートパーク	立川市都市公園	1
35	錦第三公園	立川市都市公園	1
36	西砂一しずく公園	立川市都市公園	1
37	西砂公園	立川市都市公園	1
38	緑川第二公園	立川市都市公園	1
39	緑町公園	立川市都市公園	1
40	矢川緑地	立川市都市公園	1
41	羽衣公園	立川市都市公園	1
42	羽衣一公園	立川市都市公園	1
43	栄緑地	立川市都市公園	1
44	江の島第二公園	立川市都市公園	1
45	青柳公園	立川市都市公園	1
46	曙三第二公園	立川市都市公園以外の公園	1
47	一番五公園	立川市都市公園以外の公園	1
48	柏四西公園	立川市都市公園以外の公園	1
49	柏五さくら公園	立川市都市公園以外の公園	1
50	柏町けやき公園	立川市都市公園以外の公園	1
51	幸四東第二公園	立川市都市公園以外の公園	1
52	砂川五番西公園	立川市都市公園以外の公園	1
53	天王橋西公園	立川市都市公園以外の公園	1
54	錦四公園	立川市都市公園以外の公園	1
55	富士塚公園	立川市都市公園以外の公園	1
56	若葉一第二公園	立川市都市公園以外の公園	1

No	公園名	公園種別	件数
57	幸二公園	立川市都市公園以外の公園	1
58	砂川八北公園	立川市都市公園以外の公園	1
59	立川市政 50 周年記念憩いの広場	立川市管理	1
60	栄一遊び場	立川市管理	1
61	ファーマーズセンターみのーれ立川 北側広場	立川市管理	1
62	曙町一丁目公園	立川市管理？	1
63	柴崎町公園	立川市管理？	1
64	富士見町 6 丁目たぬき公園	立川市管理？	1
65	国営昭和記念公園の周辺	立川市管理？	1
66	やすらぎ公園	立川拘置所管理	1
67	都営立川松中アパート公園	東京都管理	1

4) 国営昭和記念公園以外の公園の複数回答

No	公園名	件数
1	グリーンスプリングス、諏訪の森公園	1
2	立川公園ガニガラ広場、諏訪の森公園	1
3	立川公園ガニガラ広場、錦第三公園	1
4	立川公園根川緑道、錦第三公園	1
5	柴崎市民体育館（立川公園ガニガラ広場）、野球場周辺	1
6	柴崎市民体育館前親水広場、赤い公園（たましん RISURU ホール）	1
7	錦中央公園、錦第二公園	1
8	栄緑地、栄一むつみ公園	1
9	栄緑地、江の島公園	1
10	栄公園、栄二公園	1
11	東栄公園、ぐるぐる公園	1
12	おもしろ公園、ぐるぐる公園	1
13	中央公園、若葉/新若葉公園	1
14	松中公園、大山団地近くの公園	1
15	見影橋公園、砂川四番公園	1
16	見影橋公園、砂川八南公園	1
17	若葉公園、けやき台団地中央公園	1
18	若葉公園、玉川上水緑道、矢川緑地	1
19	幸五公園、玉川上水	1

5) 公園以外の回答（団地内の公園）

No	公園名	件数
1	UR 立川一番町東団地内の公園	1
2	エステート立川内の公園（団地の公園）	2
3	おせんべい山公園（団地内）	1
4	柏町団地の公園	1
5	中央公園（けやき団地内）	2
6	東団地内公園（団地内の公園）	1
7	若葉団地内（若葉町団地第二公園 or 児童館横の公園）	1
8	立川柏町団地の中の公園（柏町幼児遊園？）	2

6) 他市の公園

No	公園名	件数
1	（東大和市）都立東大和南公園	1
2	（小平市）小平市立きつねっぱら公園	1
3	（昭島市）昭島公園	1
4	（昭島市）昭島市の公園	1
5	（昭島市）昭島市立昭和公園	1
6	（昭島市）かけはし公園	1

7) 公園の名称が不明

49 件

8) 無回答

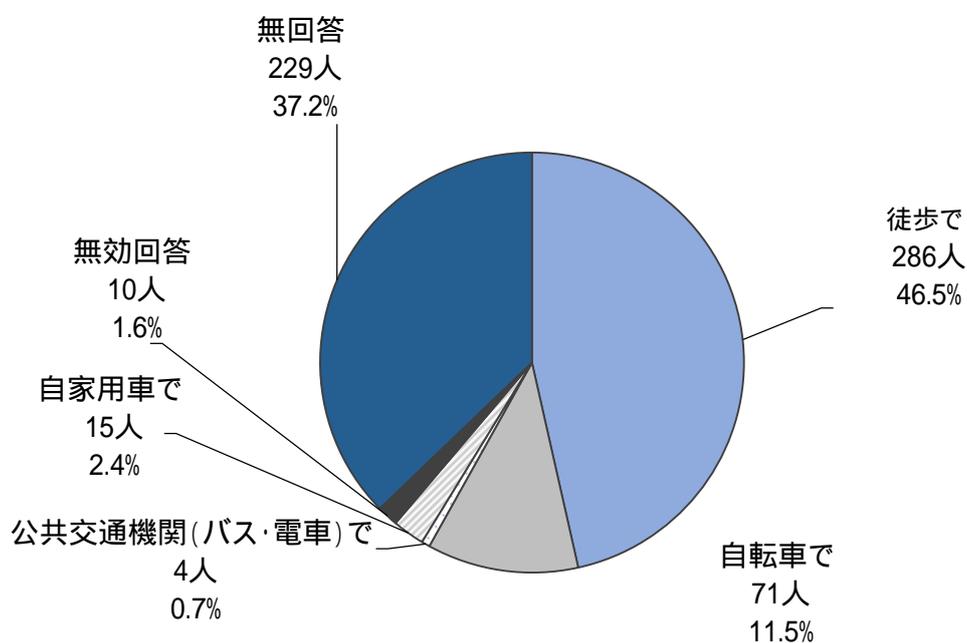
244 件

問(13) 設問(12)で記入した公園に、主にどのような手段で行っていますか。(注：立川市管理の公園内に駐車場は有りません) (1つを選択)

公園に行く手段として最も多い回答は「徒歩で」で46.9%となっています。次いで「自転車で」が11.7%です。

(重複しての回答は無効回答)

(n=615)

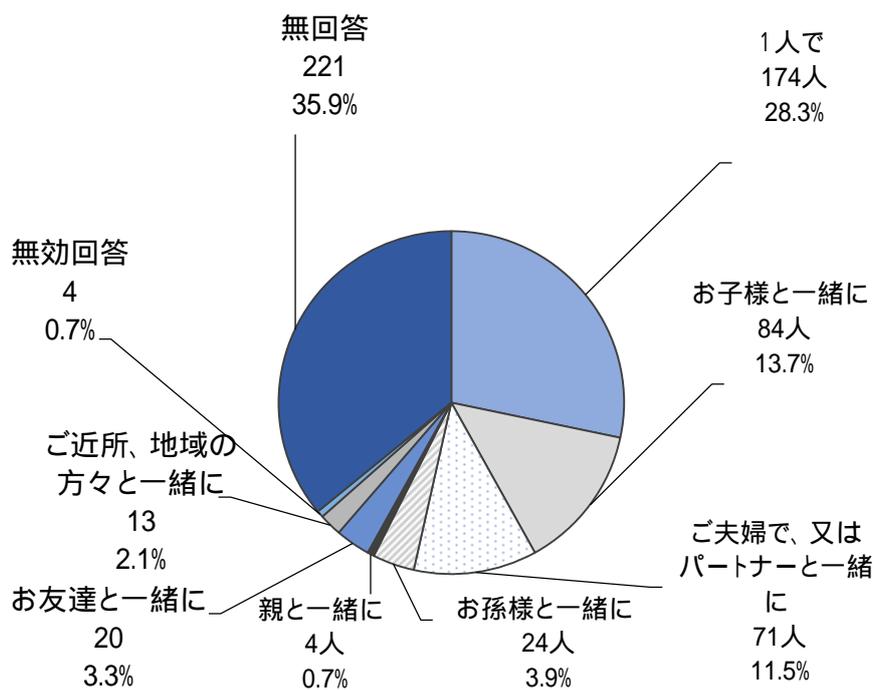


問(14) 設問(12)で記入した公園に、主に誰と行っていますか。(1つを選択)

公園に誰と行くかは、「一人で」が最も多く28.3%となっています。次いで「お子様と一緒に」が13.7%、「ご夫婦で、又はパートナーと一緒に」が11.5%です。

(重複しての回答は無効回答)

(n=615)

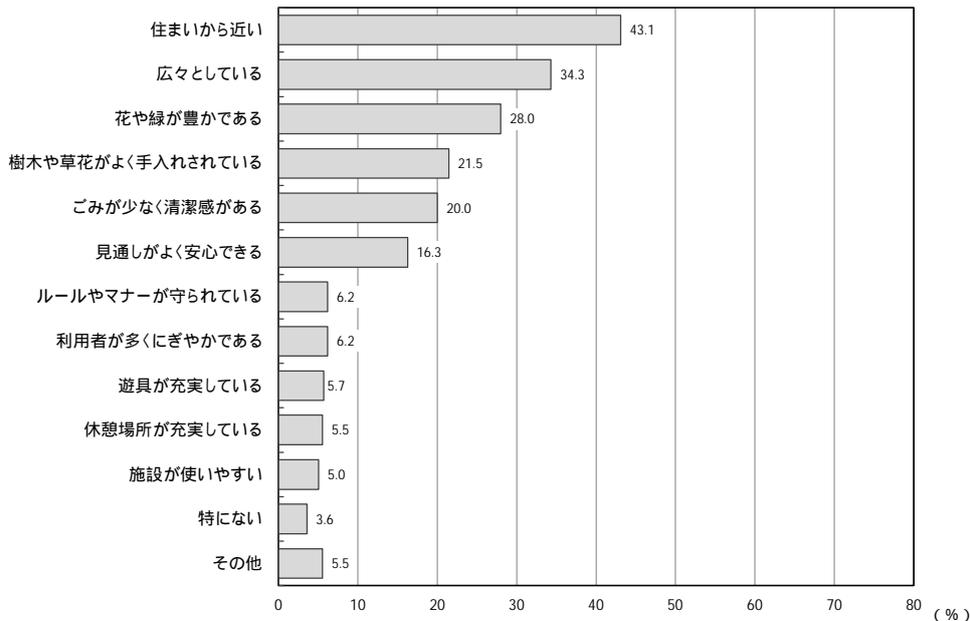


問(15) 設問(12)で記入した公園の良いところを教えてください。

(複数選択可)

身近な公園の良いところについて、「住まいから近い」(43.1%)が最も多く、次いで「広々としている」(34.3%)、「花や緑が豊かである」(28.0%)となっています。

(n=615)



前回と比較して、上位3つの順位は変更ありませんが、回答割合は全ての選択肢において減少しています。

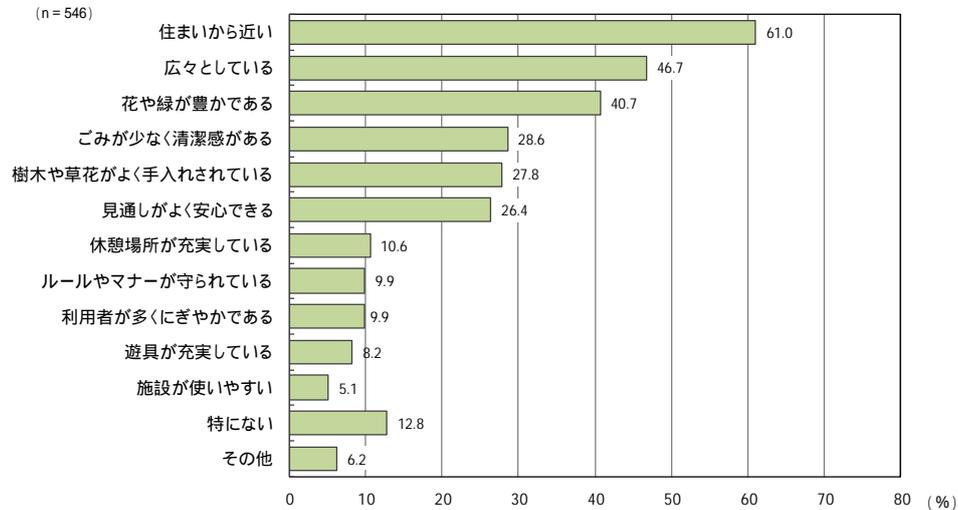
「休憩場所が充実している」が前回よりも順位が3ランク低くなりました。

意見の内容	件数
・買物の交通路 ・通り道として使える ・図書館に向かう途中	3
・桜の時期がきれい ・しだれ桜	2
ブランコがある	1
子どもが遊びやすい	1
狭いが樹は多い	1
日かげがあり、夏過ごしやすい	1
地面の公園舗装されている	1

意見の内容	件数
・ドッグラン ・ドッグランがあるので良く行くが公園の広さの割にドッグランが狭いので改善して頂きたいが立川市の運営ではない事は理解している。	2
・電車が見える ・孫が電車が好き	2
幼児の親の交流も盛ん	1
水の流れが気持ち良い。夏には清涼感を得られる。	1
不審者がいないイメージ	1
最近、ゴミ捨て多し!!	1
トイレが綺麗で清潔	1

前回の結果

身近な公園の良いところについて、「住まいから近い」(61.0%)が最も多く、次いで「広々としている」(46.7%)、「花や緑が豊かである」(40.7%)となっています。



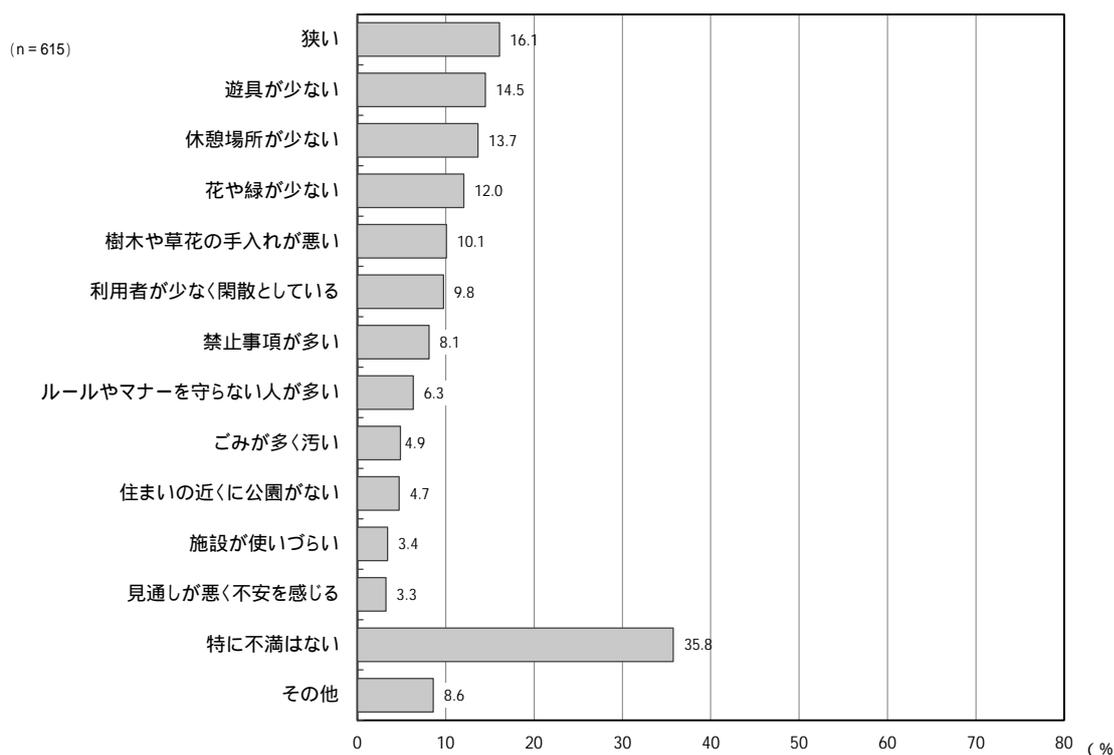
その他の意見

意見の内容	件数
人が少ない	3
イベントがある	2
日陰が多い	2
利用してない	2
フードフェス	1
BBQ	1
フットサル	1
ブランコがある	1
夏祭りがある	1
学校に近いので	1
季節毎に植物が豊か	1
近所だから行く	1
犬が安心してあそべる、広い	1
公園がある安心感がある	1
公園の場所を知らない	1

意見の内容	件数
高い木がある	1
桜がきれい	1
雑草が多い	1
住宅地に避難地として在ることに安心感がある。住宅地に公園が少ないのでホッとする。	1
春～秋は管理者がいて安心です。	1
少し立ち寄るのに丁度良い広さ	1
水辺が多い	1
川があってやすらいだ気持ちになる。パークウォッチング	1
電車がよく見える	1
歩いて行くだけでつかれる。老人の利用する物はない。	1
有名	1
幼い子の遊び場でした。	1
利用者はほとんどいない	1
ない	2
公園に行かない	2

問(16)【お住まいの地域】の公園について、不満に感じるところを教えてください。
(複数選択可)

「特に不満はない」が最多(35.8%)です。次いで、「狭い」(16.1%)、「遊具が少ない」(14.5%)、「休憩場所が少ない」(13.7%)、「花や緑が少ない」(12.0%)となっています。



前回と比較して、不満に感じるところについての回答は減少していますが、「禁止事項が多い」が2.5ポイント、「花や緑が少ない」が1.4ポイント増加しています。

公園無い、公園の狭さに関する意見	件数
利用されている様子を見たことがない小さな公園がいくつもあることから、維持管理の人的・時間的コストを考えると、あまりにも小規模な公園をいくつも作るのは、「こういう取り組みをしている」という” やっている感 ”を出す以上の意味が無いように感じる。	1
柏町に公園がない	1
公園がなく、子供の遊び場がない。	1
芝生のある公園を増やして欲しい	1
・魅力が無い ・行きたい！と思わせてくれるような公園がない。	2

遊具、健康遊具に関する意見	件数
・23区の公園のように筋力をつけたりできる遊具を無料で利用できるようにして欲しい ・スポーツ中心の公園なのでリハビリ等の散歩はできない。 ・老人用の器具がない	3
・遊具が古い ・遊具のメンテナンス及び老朽化 ・道具が古く使用禁止になっている ・シーソーが去年壊れ、そのまま放置されている。小さい子どもがたくさん遊ぶので、修理せず撤去ならば、早く撤去してほしい。また、夕方以降中高生が多くなり、遅くまでいることが気になる。	4
遊具の使い勝手が悪い。懸垂バーがなくなった	1
住まいの近くに公園があっても遊具がない	1
整備中の遊具があってもなかなか使えない	1

公園や樹木の管理、手入れに関する意見	件数
・枯葉の掃除が大変です。 ・大きな落葉が風でとんであちこちの家にかたまってこまる。	2
・公園に隣接しており、雑草などが家の庭側に伸びてきたり、種子が飛んできて雑草が自宅庭にも生えてしまいます。最悪木になってしまったものの処理がかなり大変です。剪定業者の方に刈っていただくようお願いしても、そこまではできませんと言われてしまい、困る ・雑草がすごくて夏、蚊が多い	2
砂や木屑が新築の家に来るので対策をして欲しい。	1
手入れしすぎて自然観がない	1
大きめ蜂がいる	1

ゴミや音、マナーに関する意見	件数
犬のえさを公園にまいている人がいて、犬が食べてしまうことがあります。有害な成分が入っている可能性もあるので心配です。	1
<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミを捨てる人がいる ・自転車でゴミをすてに来ての人がいます。男女とも自転車 スポーツ公園 	2
花火や飲食のあとのかたづけがされずそのまま放置してあることがある。学生や若い人達	1
<ul style="list-style-type: none"> ・喫煙場所となっている ・たばこを吸いにくる人が多い ・タバコをすう人がいる 	3
うるさい	1
夕方の利用時間をきめてほしい。遅い時間に子どもの声がかしている。	1
私道に面していて車がスピードを出して走っている	1
公園が駐車場になるので危ないと感じる。	1
狭いのにボール遊びをしているため(小・中学生)、近隣の家(建物)や車にぶつかり、謝罪ない。小さな子どもが遊べなくなる。	1

見通しに関する意見	件数
<ul style="list-style-type: none"> ・うすぐらい ・うっそうとしている時期がある ・暗く、怖い感じがする 夜ではなく、昼間でも安全に感じられない	3

禁止事項に関する意見	件数
犬の散歩が禁止	1
<ul style="list-style-type: none"> ・バドミントン、キャッチボール等ができない。 ・ボールで遊べない ・ボール遊びができないと管理している人に言われた。周りに人がいない時でも。 ・野球の練習したい ・球技(バスケットボール)ができる公園がない(ゴールがない) ・球技を認めない公園が殆どであり、子供たちが球技を練習する場がない。チーム活動はしていても活動日以外に個人練習したいのにできるところがない。 ・ボール遊びや、花火などができない事。 	7

公園施設に関する意見	件数
<ul style="list-style-type: none"> ・木が少ないから夏に暑い ・草壁部分が5分の4。木陰は1ヶ所で涼しさがほしいだろう。 	3

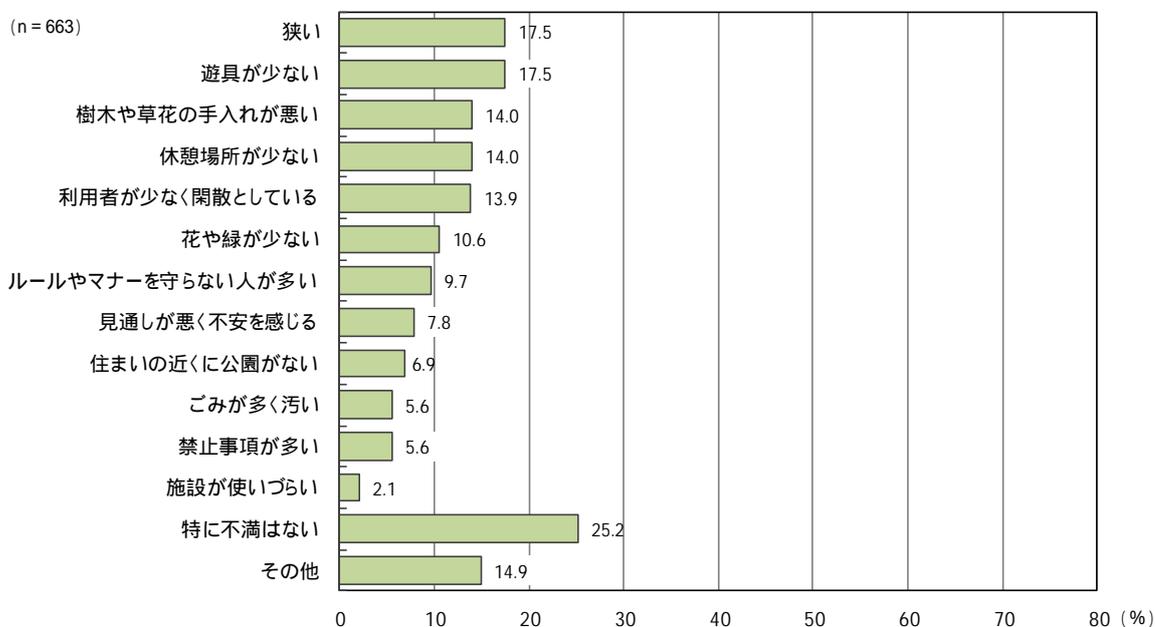
公園施設に関する意見	件数
・緑がない(富士見町2丁目線路脇の公園)	
・駐車場がない ・車が止められない	2
・トイレがこわい ・トイレが和式で子供が使えない ・トイレは使用可能な状態であると良い。 ・トイレを改善してほしい	4
歩道の一部が石畳のみとなっていて、車椅子や目の不自由な方に不便	1
地面の整備不足	1
砂場がない	1

公園利用に関する意見	件数
利用する機会がない	1
料金がかかる	1

公園周辺に関する意見	件数
周辺の公園の樹木の伐採が進んでいる	1
嘗ては春には桜の花が咲き誇りとてもきれいでしたが、最近は枯れかけた桜の古木が次々に伐採され寂しくなりました。近隣だと国立市の桜通り等は古木を伐採する一方で植樹もちゃんとしています。市民の安全のため古くなった遊具を撤去したり、倒壊の恐れがある古木を伐採することは必要ですが、一方で計画的な公園整備が求められます。公共の場所で住民が勝手に植樹することは出来ませんので、是非市として植樹と公園の再整備を進めていただければと思います。	1

前回の結果

お住まい地の地域の公園について不満に感じる場所は、「狭い」(17.5%)、「遊具が少ない」(17.5%)が多くなっています。次いで「樹木や草花の手入れが悪い」(14.0%)、「休憩場所が少ない」(14.0%)、「利用者が少なく閑散としている。」(13.9%)となっています。



その他の意見

花や緑について	件数
いつも草がのびきって汚い、街灯がなくまっくらで危険	1
ただの雑草地にしか見えない、薄気味悪い	1
古木が多く、減っている	1
公園内の周辺部に低木がすきまなくびっしりと植えられているため、クズのつる、ヤブガラシ、イケマ、ヘクソカズラのつるやエノキ、クワノキ、ニワウルシなどを駆除できない。(寄付公園のため市の責任でない設計上の問題)	1
広いわりには花が少ない	1
雑草が多い	1
昭和記念公園の草花の種類がもっとあればよいと思う	1
土埃りがひどい	1
日かげが少ない	3

前回の結果

ルールやマナーを守らない人について	件数
夏は花火をしたり、大声を出して騒ぐ人達がいる。夜中うるさい!	1
犬の散歩をしている人がおしっこやフンをさせていてにおいが残っています	2

安全面について	件数
位置的なものだと思いますが、少し暗い。	3
外灯が少なく危険である	3
樹木が大きく暗く治安が悪い	2

ごみなどの衛生面について	件数
蚊が多く、夏～秋、子どもを遊ばせるのに抵抗があるときがある	4
ガラスなど散乱しており危ない	1
ネコ・カラスが多い	1
ネコのえさ場、犬のトイレになっている	1
ネコのフンが多い	1
ベンチの周りにタバコの吸いガラ多し	1
割とごみがある	1

禁止事項について	件数
ボールが使えない	2
もう少し自由に使えるようにありたい。(例) 幼児のキャッチボール、座れる所があると小陰で休めるなど	1
住まい近くに公園があり、引っ越してきたのにボール使用禁止で子どもが外で遊べなかった。外遊びが出来ずに育った子どもたちの将来はとても心配です。これはとても大きなこと、立川市はもっと考えるべき。	3
住宅の中に有り、目が気になる。子どもも居ない。	1
小さな子どもがあそべるように設備を整えてほしい	1

前回の結果

公園の施設等について	件数
トイレがきれいではない。虫が多くて小さい子どもにさせるのは嫌だなと思う。	2
トイレがない	2
フェンスが古くこわれているので危ない。	2
ベンチがボロボロ	2
トイレが怖い	1
ドックラン場を設ける	1
ベンチが少ない	1
わりと新しく作り直された多摩信本店近くの公園は、お金をかけてそうなのに、日影や雨やどりの配慮がない！	1
外周のランニングが整備されていない	1
管理がされていない。(いきとどいていない)	1
橋の老朽化(木材の)	1
公園の手入れがされていないように感じる。水遊びができる場所もあるが、ぬかるんでいたり、トイレが暗く汚い。遊具も壊れていて使えない事も多い。立川市内の端の方なので、色々な意味で手を抜かれている所が多いように感じ、不満。	1
入園入口のトイレが汚い(立川口)	1
砂場の砂が不衛生	1
大人向けの運動できる遊具が欲しい	1

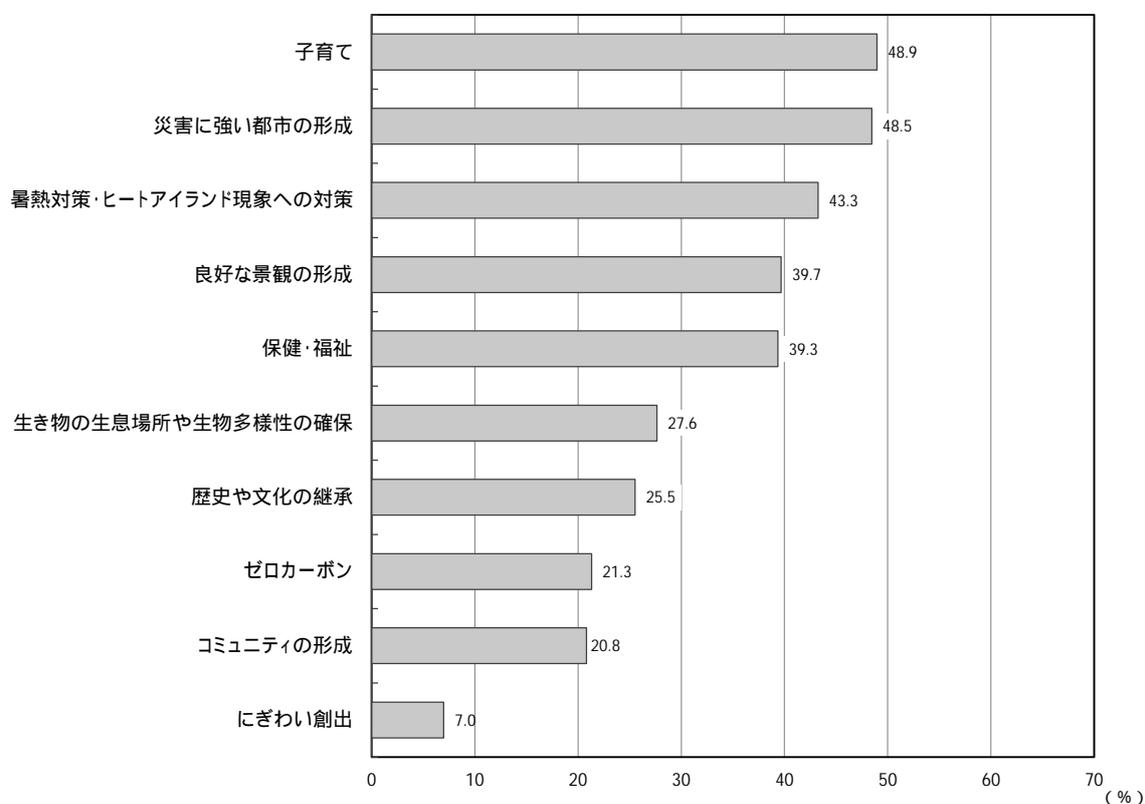
その他	件数
あまりきれいではない	1
あまり行かない	1
パーキングとして使われる	1
土日は野球の関係者が多い。	1
レストラン・売店を充実して欲しい	1
わからない	1
家の無い人が横になれるベンチ(中央の仕切りの無い)を、少し残して欲しい。	1
公園とは呼べない	1
食事価格が高い ソフトアイスクリームが、量が多く高すぎる。時々売っている内容が変われば良い	1
全く行かないので解りません	1
駐車場	1
直接グラウンド部分以外の解放してほしい。	1
都営 26 号ウラの公園	1
道にまよう	1
道路計画でつぶされる予定と聞き、大昔の計画が現在の人口、地域の現状とかけはなれていて憤りを感じる	1

2 - 4 今後の緑の保全と創出について

問(17) 社会資本整備やまちづくり等に緑を積極的に取り入れて、自然のしくみや緑が持つ様々な環境保全機能を活用して社会課題の解決を図る「グリーンインフラ」という考え方が注目されています。このような考え方をふまえ、緑の基本計画において議論すべき、立川市において重要と考えられる社会課題は何ですか。(複数選択可) なお、緑とは、樹林地(崖線上の斜面林、雑木林、社寺林、屋敷林等)、草地、農地及び公共施設・民間施設・住宅の庭先等で緑に被われている空間、河川、用水・分水、池沼、湿地、湧水地等の水面及び水辺地、緑に被われていないものの永続性、公開性の高いオープンスペース(公園、広場、グラウンド等のうち、緑に被われていない部分)や芝地をさします。

「グリーンインフラ」の考え方を踏まえ、立川市において重要と考えられる社会課題について、「子育て」(48.9%)が最も多く、次いで「災害に強い都市の形成」(48.5%)、「暑熱対策・ヒートアイランド現象への対策」(43.3%)、「良好な景観の形成」(39.7%)、「保健・福祉」(39.3%)となっています。

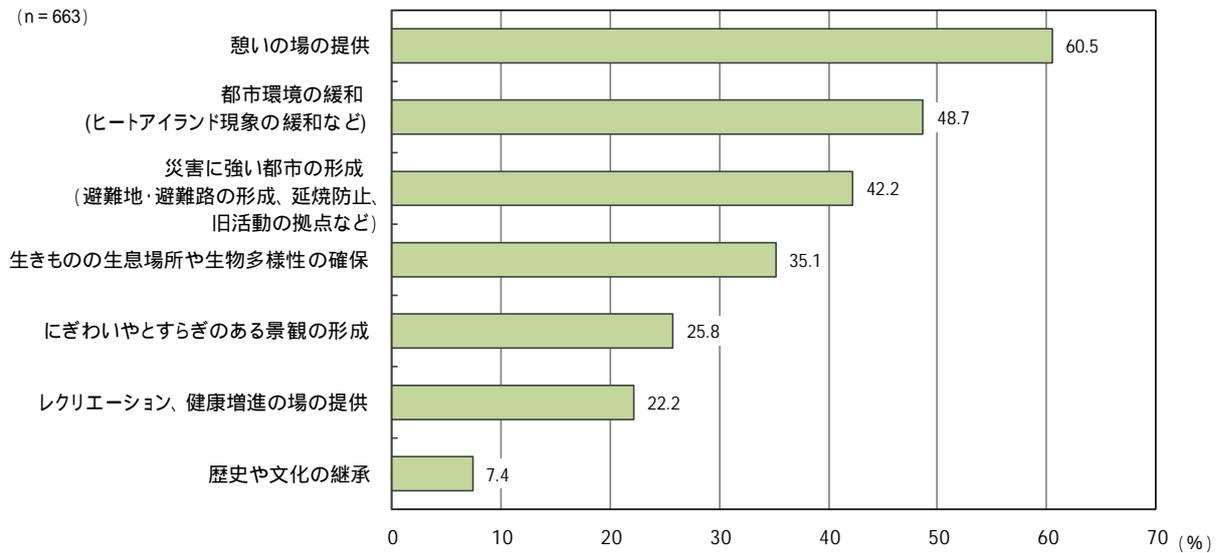
(n = 615)



前回の結果

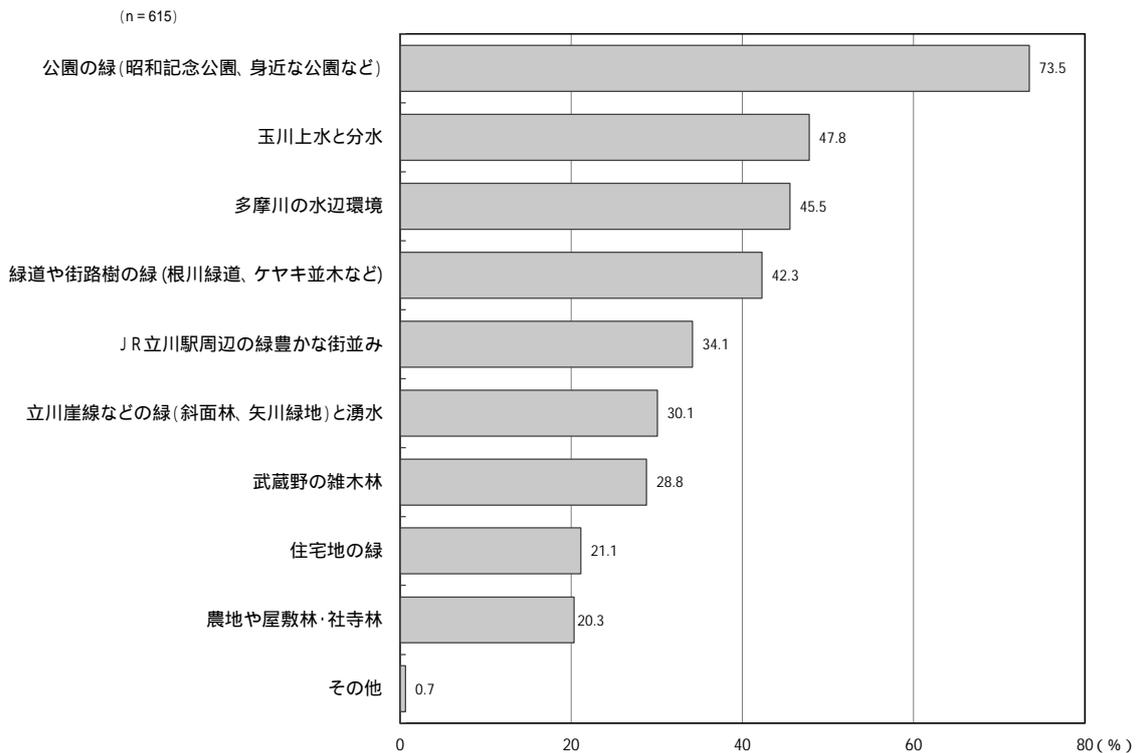
問：あなたが緑に期待することは何ですか。（複数選択可）

緑に期待する役割について、「憩いの場の提供」（60.5%）が最も多く、次いで「都市環境の緩和」（48.7%）、「災害に強い都市の形成」（42.2%）となっています。



問(18)【立川市内】の緑や水辺の中で、あなたが次世代に引き継いでいきたいと思うものは何ですか。(複数選択可)

【立川市内】の緑や水辺の中で、次世代にひきついで行きたいと思うものについて、「公園の緑(昭和記念公園、身近な公園など)」(73.5%)が最も多く、次いで「玉川上水と分水」(47.8%)、「多摩川の水辺環境」(45.5%)となっています。



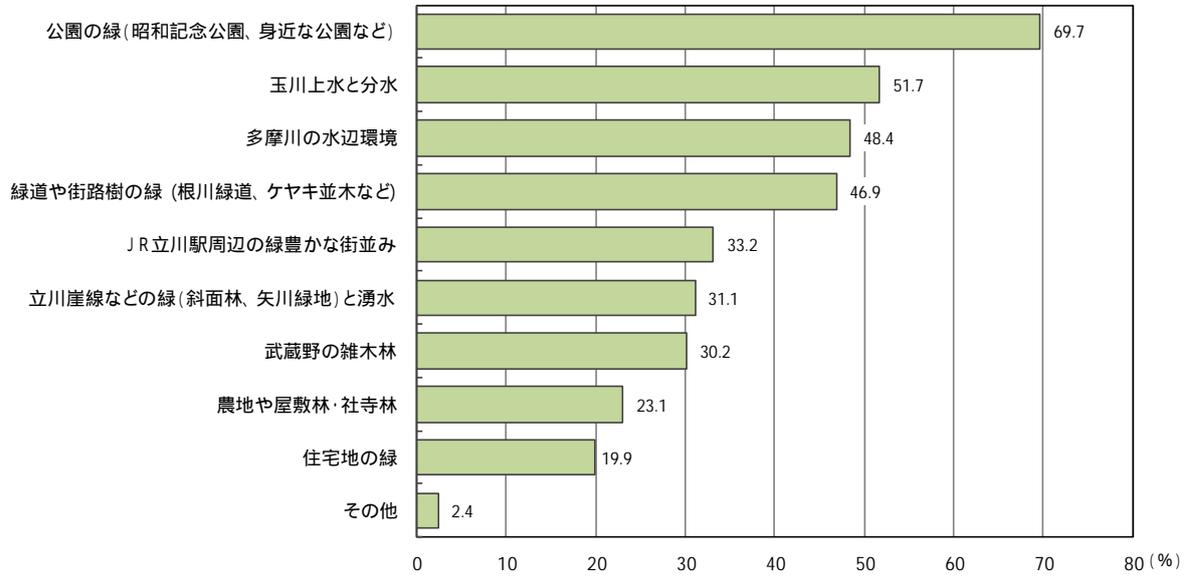
前回と比較して変化の大きいものは、「公園の緑(昭和記念公園、身近な公園など)」が3.8ポイント増加、「緑道や街路樹の緑(根川緑道、ケヤキ並木など)」が4.6ポイント減少しています。

次世代に引き継いでいきたいと思うものに関する意見	件数
保護樹林の存続	1
玉川上水の蛸	1
柴崎分水をもっとアピールしたい。	1
仕事が忙しくて、緑や水辺のことを考える機会がなかったが、大切であることにはまちがいはないと思います。	1
なし	1

前回の結果

次世代に引き継いでいきたいと思うものは、「公園の緑(昭和記念公園、身近な公園など)」(69.7%)が最も高くなっています。次いで「玉川上水と分水」(51.7%)、「他玉川の水辺環境」(48.4%)となっています。

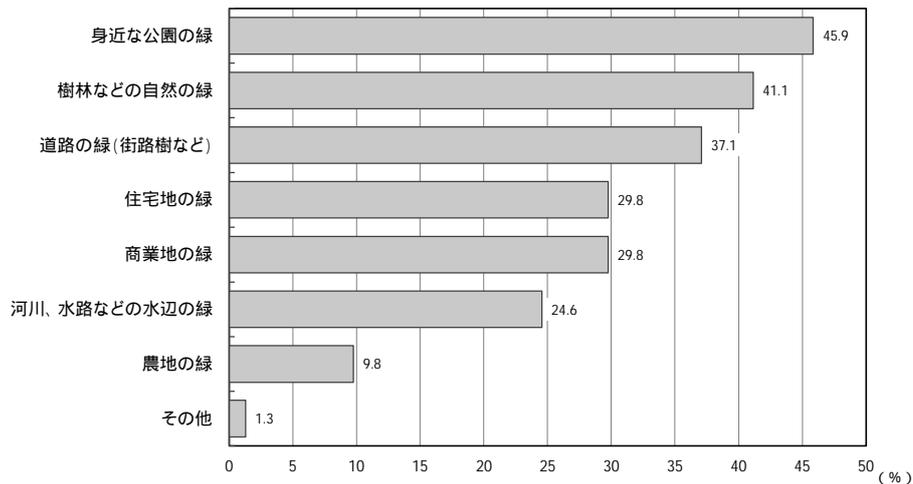
(n = 663)



問(19) 今後、【立川市内】のどのような緑が増えてほしいと思いますか。(複数選択可)

立川市内に増えてほしい緑について、「身近な公園の緑」(45.9%)が最も高く、次いで「樹林などの自然の緑」(41.1%)、「道路の緑(街路樹など)」(37.1%)となっています。

(n=615)



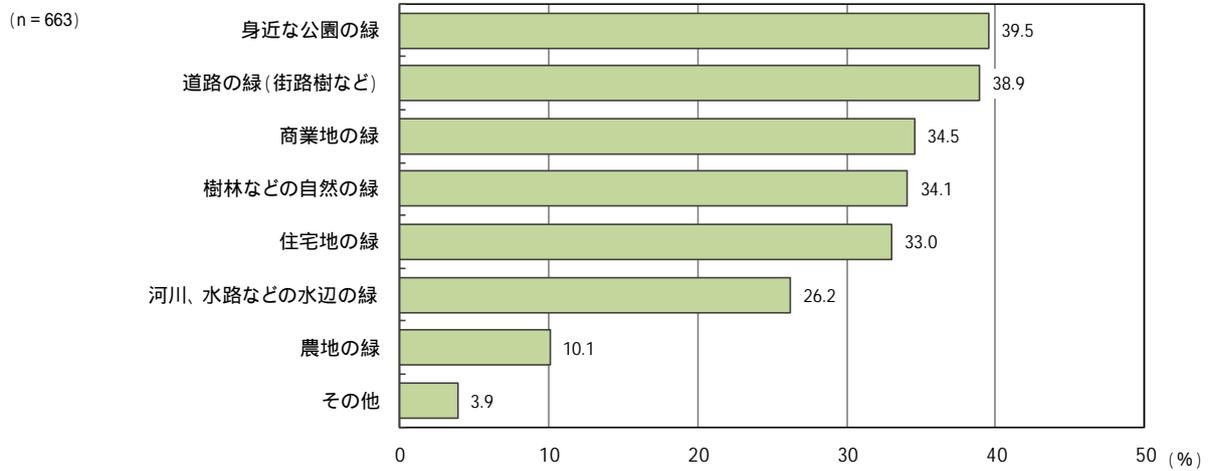
前回と比較して、「樹林などの自然の緑」が7.0ポイント増加、「身近な公園の緑」が6.4ポイント増加しています。

「商業地の緑」は4.7ポイント減少しています。

今後どのような緑が増えてほしいかに関する意見	件数
新しい公園の緑	1
野菜直売所	1
ゆっくり歩ける舗道に緑がほしいです。	1
残堀川の整備	1
花が一年中咲いてる木	1
昭和記念公園内の木々や草類も以前よりも減ってきているので以前のように増やしてほしい	1
住宅地の樹林、夏の暑さ対策に絶対必要だが、落葉対策で処分される事が増えていると思う	1
増えて欲しいというより減らないで欲しい	1
・増えすぎても管理が大変だと思いますので現状でも満足しています。 ・現状維持で良い	2
増えなくてもいい	1
すでにたくさんの緑がある。	1
特になし	1

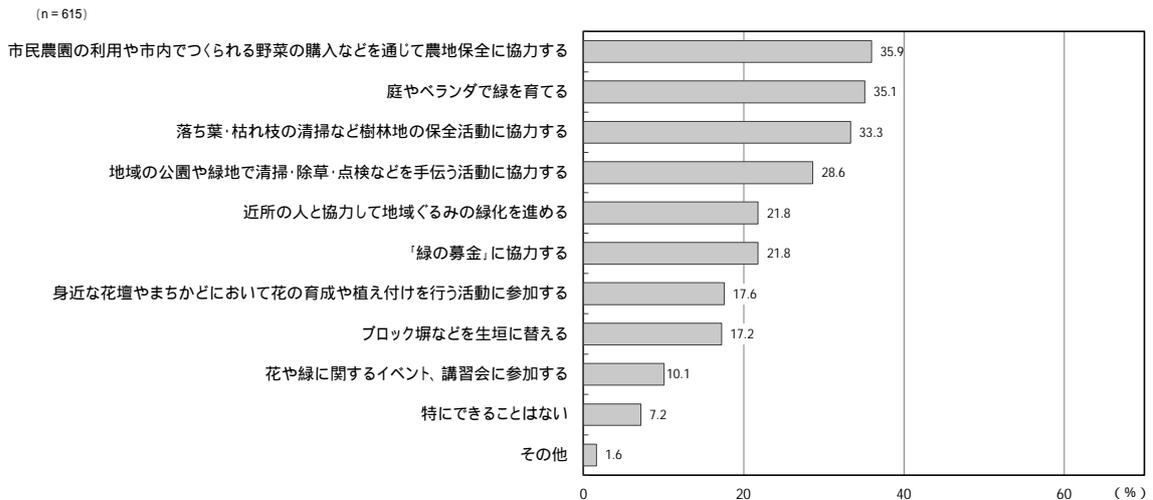
前回の結果

立川市内に増えてほしい緑について、「身近な公園の緑」(39.5%)、「道路の緑(街路樹など)」(38.9%)が高くなっています。次いで、「商業地の緑」(34.5%)、「樹林などの自然の緑」(34.1%)となっています。



問(20) 緑豊かなまちづくりを進めるために、市民一人一人が出来ることとして、どのようなことが必要だと思いますか。(複数選択可)

緑豊かなまちづくりを進めるために、市民一人一人が出来ることについて、「市民農園の利用や市内でつくられる野菜の購入などを通じて農地保全に協力する」(35.9%)が最も高く、次いで「庭やベランダで緑を育てる」(35.1%)、「落ち葉・枯れ枝の清掃など樹林地の保全活動に協力する」(33.3%)となっています。



前回の設問は「あなた自身が出来ること」をお尋ねしましたが、今回は「市民一人一人が出来ること」としました。その結果、前回と比較して、「落ち葉・枯れ枝の清掃など樹林地の保全活動に協力する」が12.5ポイント増加、「市民農園の利用や市内でつくられる野菜の購入などを通じて農地保全に協力する」が5.1ポイント増加しました。

前回最も回答の多かった「庭やベランダで緑を育てる」は24.0ポイント減少しました。

マナーやごみに関する意見	件数
庭に花をうえてもすぐ持っていかれます。残念です。	1
生け垣 歩道まで枝がのびて、歩くのに大変な所があるが、他人の生垣で注意しづらい。	1
たばこのポイ捨てをやめる(枯れてしまう) ゴミのポイ捨てもやめる 使い捨てマスクをきちんとして、管理して。わざとでなくても落ちている	1
ごみを公園にすてない。	1
街を汚さない意識強化	1

農地、食育等に関する意見	件数
農家の方にうね売り?などしてもらい気軽に収穫に行けるようにする。	1

農地、食育等に関する意見	件数
子供への教育、自然にふれることの楽しさをたくさん体験してもらい立川の良さを感じてほしい。緑に関する授業・活動を増やす。	1
農地(畑)でのイベントを増やして欲しい 小・中・高の食育に力を入れて欲しい	1

保全、植樹等に関する意見	件数
・都内で再開発などで木の伐採をめぐる反対運動が起きたりしましたが、木は植えてから育つまで何年もかかるものですし、今ある緑を大切に守って行く事が重要だと思う。 ・出来た緑を壊さないこと	2
空き地に住宅ではなく木を植える	1
植物を植える土地(土)が増えることで夏場の夜間気温が劇的に下がる。駅前から十小裏バス停まで帰ってきた時に、その気温差にいつも驚いている。元米軍基地跡の緑地があることで、夏場のヒートアイランド現象がおさえられていると思うので、できるだけ「土」を地表面に出しておくようにして欲しい。北側に〔つくば祭典〕の建物(コンクリートの広い敷地)南側に真如苑のコンクリート面が出来てしまったら、とたんに夏場の夜の温度が下がらなくなった。	1
庭に植える花などに助成があるといいと思います	1

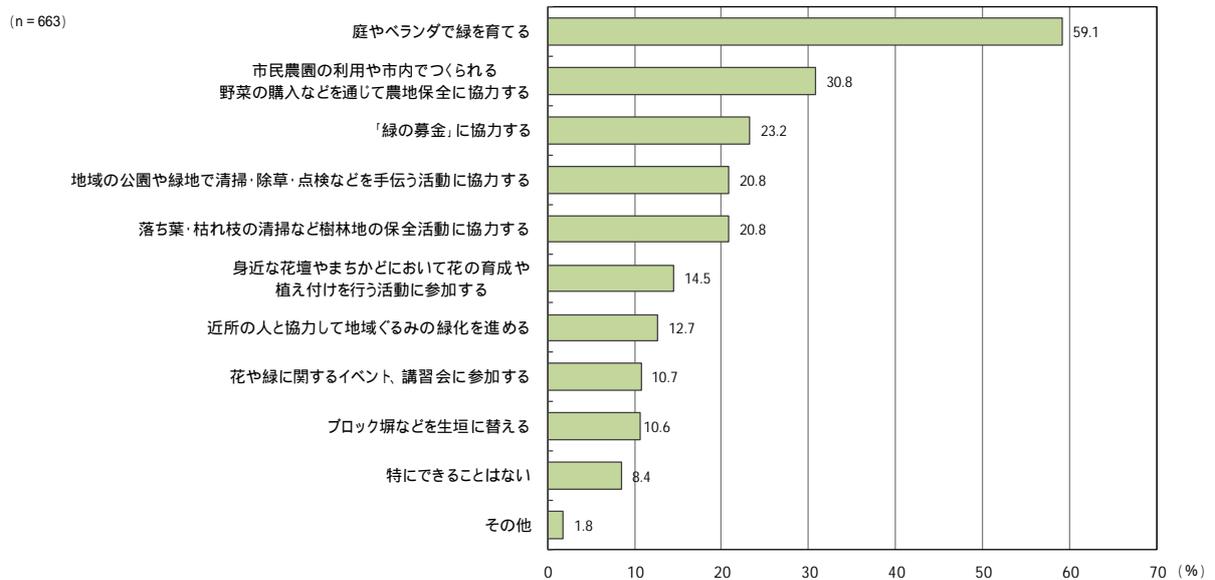
活動ができない理由に関する意見	件数
・年齢を考えて協力できそうに無いのでごめんなさい!! ・高齢の為、協力できるのに限りがある。	2
情報が無いので参加できていない	1

意識他に関する意見	件数
一人一人出来ることは上記に記載してあることだと思いますが、それをやろうと思えるような意識を持ってもらえないとやってもらえることにつながらないのかなと思います。	1
市民一人一人が緑を綺麗だと感じられる余裕が必要かと思う。	1
ビックモーターを街から追い出す	1

前回の結果

問：緑豊かなまちづくりを進めるために、あなたご自身はどのようなことができますか。(複数選択可)

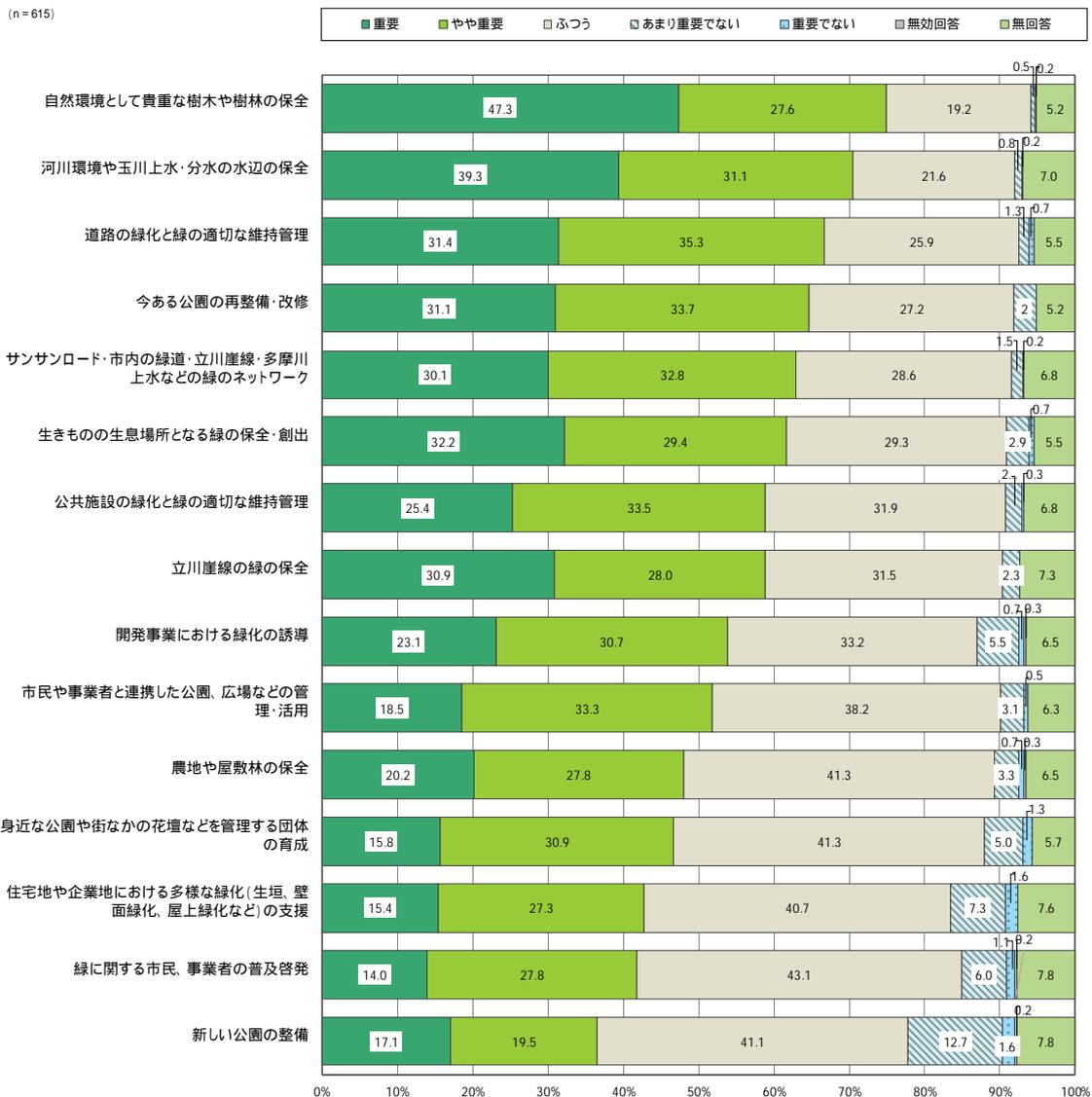
緑豊かなまちづくりを進めるために、自身ができることについて、「庭やベランダで緑を育てる」(59.1%)が最も高くなっています。次いで「市民農園の利用や市内で作られる野菜の購入などを通じて農地保全に協力する」(30.8%)となっています。



問(21) 緑豊かなまちづくりを進めるための立川市の取組について、今後どのくらい重要視しますか。(項目ごとに1つを選択)

緑豊かなまちづくりを進めるために、重視する立川市の取組について、「重要」・「やや重要」の合計は、「自然環境として貴重な樹木や樹林の保全」(74.9%)が最も高く、次いで「河川環境や玉川上水・分水の水辺の保全」(70.4%)で、共に7割を超えています。

「あまり重要でない」・「重要でない」の合計は、「新しい公園の整備」(14.3%)で最も高くなっています。



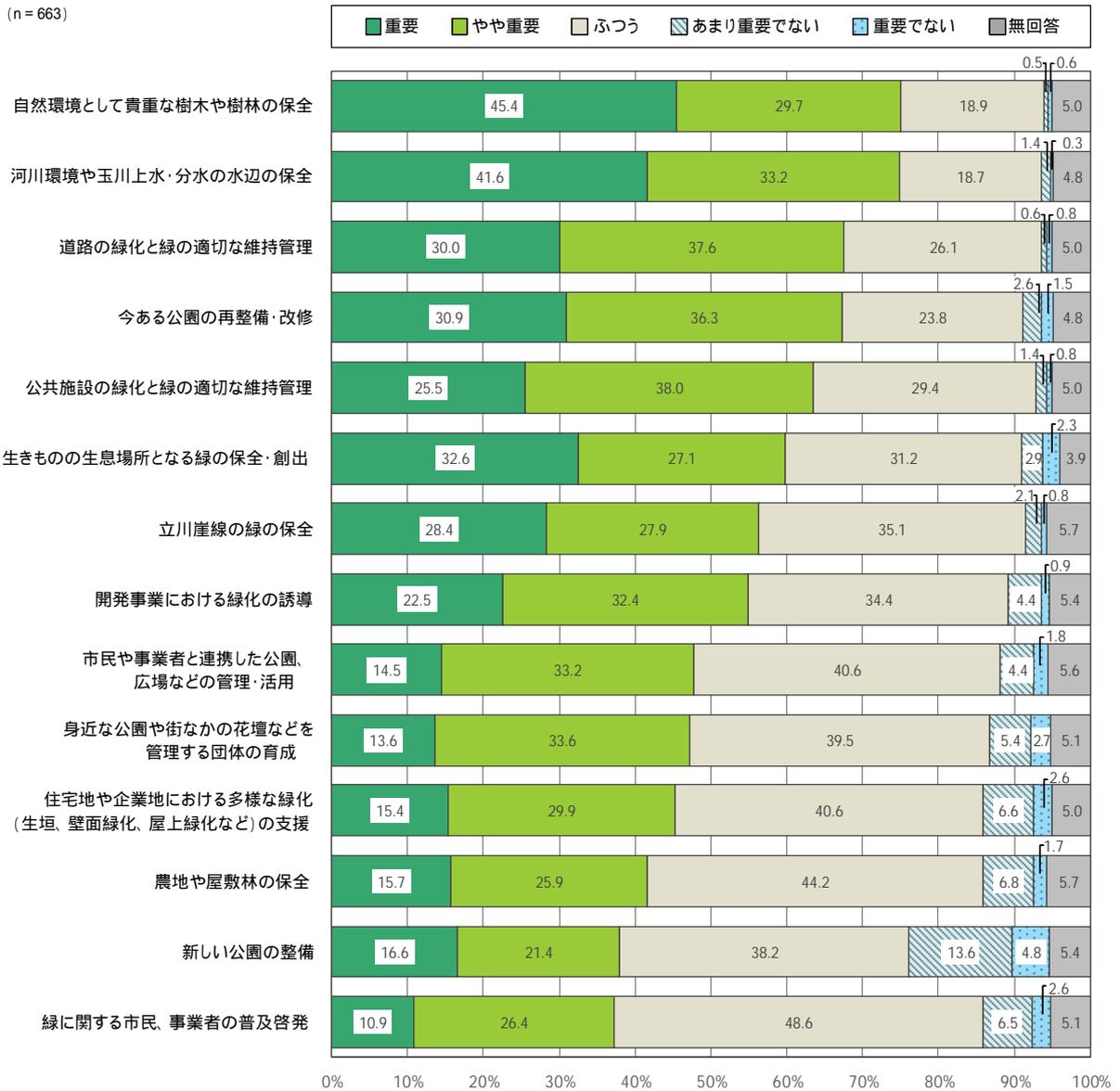
前回の設問と比較すると、「重要」・「やや重要」の上位4項目は同じ順位でした。次いで、新たな選択肢の「サンサンロード・市内の緑道・立川崖線・多摩川上水などの緑のネットワーク」(62.9%)となっています。

前回の結果

緑豊かなまちづくりを進めるために、重視する立川市の取組について、「重要」・「やや重要」の合計は、「自然環境として貴重な樹木や樹林の保全」(75.1%)、「河川環境や玉川上水・分水の水辺の保全」(74.8%)で高くなっています。

「あまり重要でない」・「重要でない」の合計は、「新しい公園の整備」(18.4%)で最も高くなっています。

(n = 663)



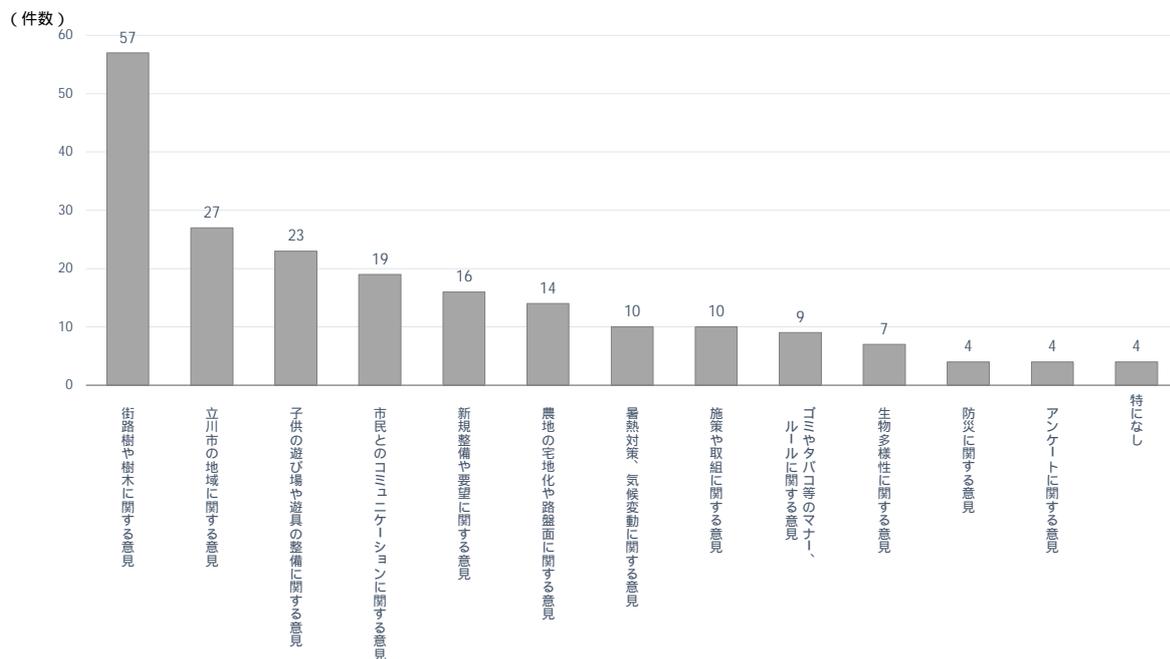
問(22)立川市における緑の保全と創出の取組に対する意見や提案等がございましたら、自由にご記入ください。(自由意見)

問22の回答者数は195人です。一人の記載内容が、複数のテーマに対して言及している場合は、分割して掲載しているため、回答者数と意見数は異なります。

項目	件数	主な意見の例
立川の地域に関する意見		
1) 昭和記念公園や玉川上水に関連した良好な環境に関する意見	8件	<ul style="list-style-type: none"> ・自然や緑が多く、子供やお年寄りが住みやすい街 ・恵まれた環境 ・都会なのに緑が多い ・昭和記念公園が近くにあったのが良い
2) 民間企業による良好な環境創出に対する意見 (GREEN SPRINGS)	6件	<ul style="list-style-type: none"> ・歩いていても車を運転していても緑を感じられ、きれいに整備されていて住みやすい ・おしゃれで使いやすい施設の中に緑があるとキレイ
3) 立川市の緑全般に関する意見	13件	<ul style="list-style-type: none"> ・緑の臭い、緑がありホッとする ・緑が溢れ誇りに思う
街路樹や樹木に関する意見		
1) 落ち葉や枝の清掃に関する意見	6件	<ul style="list-style-type: none"> ・道路が落ち葉だらけで困る ・住宅地内に枯れ葉が飛ばされて積もり清掃が大変
2) 街路樹による見通し確保、歩行者安全確保に関する意見	14件	<ul style="list-style-type: none"> ・枝が伸びて信号機を隠しドライバーから見づらい ・木が大きくなりすぎて見通し悪く歩行者が見えない ・歩道がデコボコして歩きづらい
3) 強剪定等に関する意見	4件	<ul style="list-style-type: none"> ・枝を払うというより丸坊主になっている、もう少し緑を残してほしい ・強剪定ばかりで剪定後に枯れる木が続出
4) 植樹や樹種に関する意見	8件	<ul style="list-style-type: none"> ・街路樹だけでなく草花を増やしてほしい ・立川市の花のこぶしがきれいに咲くようにしてほしい ・こぶしばかりなので、桜も植えて楽しめる期間が長くあるとよい
5) 樹木の保全、伐採を懸念する意見	9件	<ul style="list-style-type: none"> ・現状ある緑をこれ以上減らさないでほしい ・大木や藤棚が切られている
6) 樹木の更新に関する意見	5件	<ul style="list-style-type: none"> ・外来害虫や倒木で伐採するのは仕方ないが、新たな木を植えてほしい ・河川敷の老朽化した桜を植え替えたらと思う
7) 費用に関する意見	3件	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな生け垣などを植えるときの支援金を出しては ・樹木の手入れ、伐採費用など市で援助してはどうか ・保全費用としてクラウドファンディングをしてはどうか
8) 緑地の管理と美観に関する意見	8件	<ul style="list-style-type: none"> ・公園の草刈りを定期的にしてほしい ・雑草がフェンスにびっしりついており、景観が非常に悪い

暑熱対策、気候変動に関する意見		
1) 暑熱対策に関する意見	7件	<ul style="list-style-type: none"> ・街路樹は刈り込みすぎて、夏は日陰になっていない ・ここ数年の夏の暑さを考えると、アスファルトの道路が出てきたことでさらに酷い暑さになるのではと心配
2) 温暖化に関する意見	3件	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の樹木をかりとらない方法を検討してほしい、大気温を下げるのに役立つのではないか
農地の宅地化や路盤面に関する意見		
農地の宅地化や路盤面に関する意見	14件	<ul style="list-style-type: none"> ・農地や果樹地等が住宅地になり緑地が少なくなっている、遺産相続で手放す人が多い ・コンクリートやアスファルトが多くなっている ・土を無くすことをやめてほしい ・雑木林や田んぼが減り、立川、郊外の良さが少なくなっているのが懸念事項
生物多様性に関する意見		
1) 生き物の生息場所に関する意見	3件	<ul style="list-style-type: none"> ・木の枝を切られると鳥たちのねぐらがなくなる ・街路灯の設置で蛍が激減 ・残堀川のゴミが気になる、常に水が流れる状態になると生き物増加や清掃活動の面で変わってくる
2) 生き物対策に関する意見	4件	<ul style="list-style-type: none"> ・野生生物（たぬき、あらいぐま、ハクビシン、スズメバチ）等のトラブル、窓口を強化してほしい ・緑が増えそれに伴い生き物が増えるのが心配
防災に関する意見		
防災に関する意見	4件	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の倒木による被害（交通災害や火災）が心配 ・他市公園には災害に備えたかまどやトイレの設置があり、立川市も各地域に一つづつそのような施設を作してほしい
ゴミやタバコ等のマナー、利用ルールに関する意見		
ゴミやタバコ等のマナー、利用ルールに関する意見	9件	<ul style="list-style-type: none"> ・公園でのタバコにより子供が遊べない ・樹木が伸び放題のところ放置ゴミ ・モノレール下の禁止地域でのスケボー ・公園でのサッカークラブ団体利用、子供を遊ばせられない
子供の遊び場や遊具の整備に関する意見		
1) 遊具や遊び場不足に関する意見	8件	<ul style="list-style-type: none"> ・小さな子供が安心して遊べる公園を整備してほしい ・緑もなく遊具もない寂しい公園が多い ・町内ごとに遊べる環境を整えてほしい
2) 昭和記念公園との比較、気軽に行ける公園の不足	4件	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和記念公園があるので地域の公園を利用したいと思わない ・子育ての時に子供を気軽に連れて行ける近所の公園が少ない
3) 次世代を考慮した緑、子供の遊び場や教育に関する意見	11件	<ul style="list-style-type: none"> ・樹木の保全だけでなく活用できるように、子供たちの成長の助けになるよう樹木に触れ自然に親しめるように ・若年層から高齢者まで共通して利用できる場所

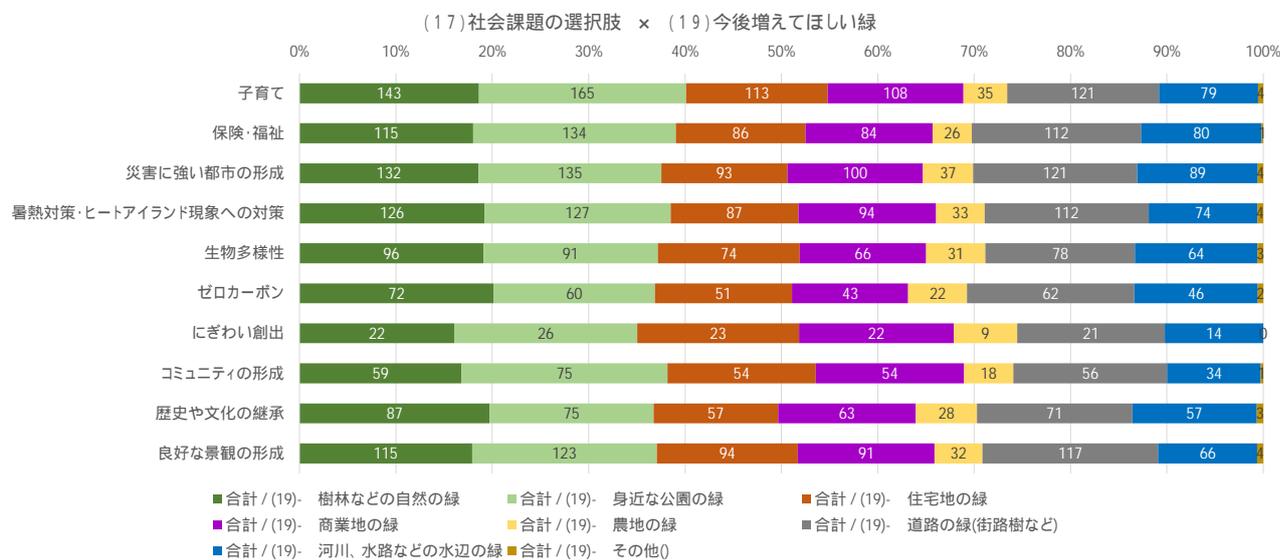
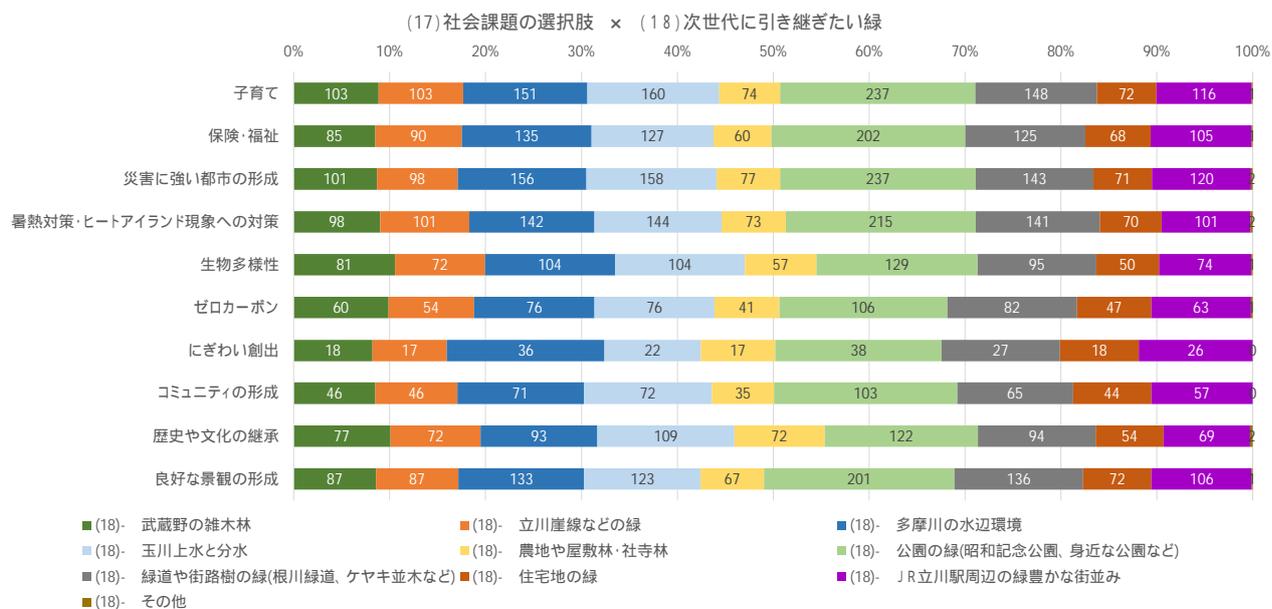
市民とのコミュニケーションに関する意見		
1) 広報や啓発活動に関する意見	8件	<ul style="list-style-type: none"> ・市が実施検討している対策、緑の大切さや必要性を広報活動で広く市民に伝えることが大切、お知らせの工夫大切 ・広報誌やWebで緑化スペースを市民にアピールした方が良い、あることが分かれば行ってみようという気になる
2) 市民参加や協力、コミュニティに関する意見	11件	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会等で子供も含め管理的な維持管理を任せる、小中学生に管理してもらうのも教育の一環 ・自治会を脱退する家が多くなっている、地域毎にリーダー養成し地域の参加を呼び掛ける ・市民が参加しやすいように定期的にイベント（落ち葉掃き、花を植えるなど）開催があれば一緒にやりたい
施策や取組みに関する意見		
施策や取組みに関する意見	10件	<ul style="list-style-type: none"> ・市の施策で明確に計画を立てていくことが重要 ・個人で参加は難しい、それぞれに合う対策が大事 ・今ある公園や緑道の再整備、見るからによくなったと思えるような取組
新規整備や要望に関する意見		
1) 公園の新規整備、考慮してほしい事に関する意見	10件	<ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺に緑を増やしてほしい ・緑が街の中に当たり前に豊かにある街づくりを希望、市民の憩いの場の創出
2) ベンチに関する意見	6件	<ul style="list-style-type: none"> ・遊歩道、緑道、散歩道、公園にベンチが欲しい ・高齢者なのでベンチがあるとありがたい
アンケートに関する意見		
1) アンケートに関する意見	4件	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの電子化 ・よい取り組み
2) 特になし	4件	・特になし



3 クロス集計結果

3-1 グリーンインフラの考え方における社会課題について

問(17) 立川市において重要な社会課題 × 問(18) 次世代に引き継ぎたい緑
 問(17) 立川市において重要な社会課題 × 問(19) 今後増えてほしい緑

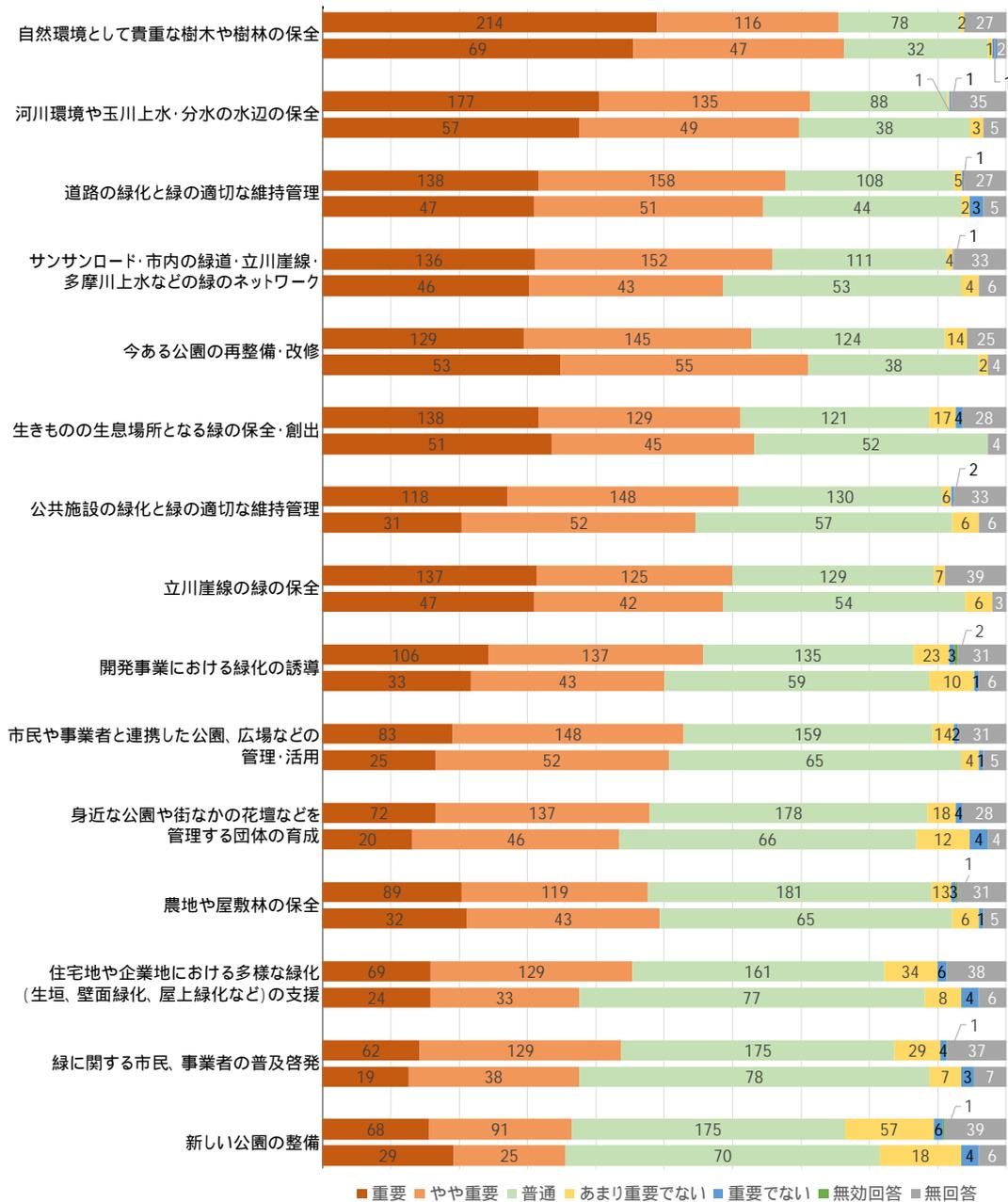


問(17)にて立川市において重要な社会課題としてそれぞれの社会課題を選択した回答者について、問(18)次世代に引き継ぎたい緑、および問(19)今後増えてほしい緑のクロス集計を行った結果、いずれも社会課題による大きな相違は無く類似傾向を示しました。

3 - 2 立川に住み続ける意向について

問(6) 今後も住み続けたい × 問(21) 今後立川市の取組で重要視すること (5段階評価)

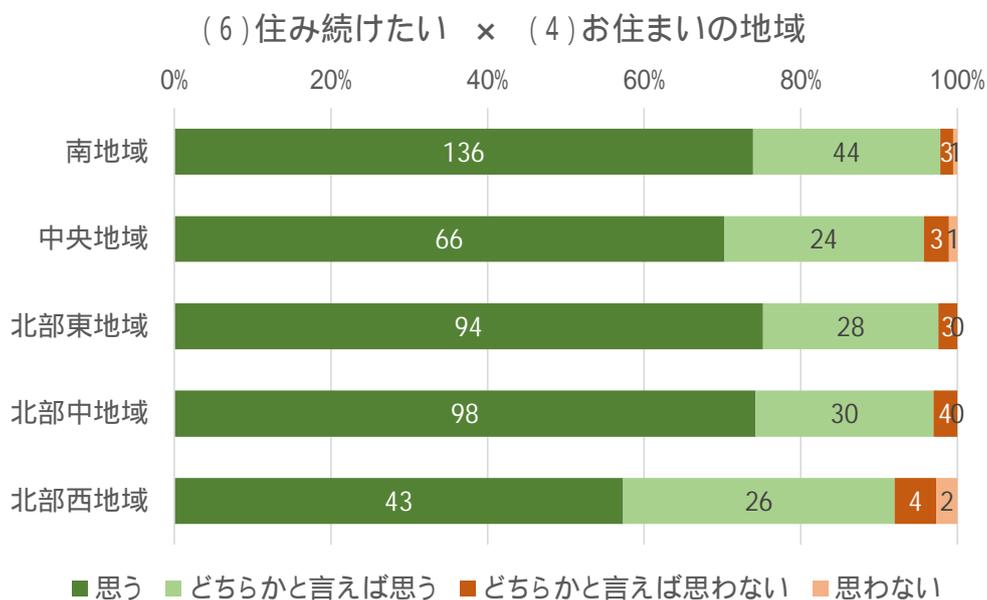
住み続けたいと「思う、どちらかと言えば思う」人が、今後重要視する立川市の取組(5段階評価)。住み続けたいと「思う」回答者の選択肢の重要度「重要・やや重要」の合計が多い順に並べ替え。上段「住み続けたいと思う」、下段「どちらかと言えば住み続けたいと思う」



問(6) 今後も住み続けたいかについての単純回答では、今後も立川市に住み続けたいと「思う」が71.1%、「どちらかと言えば思う」が24.7%であり、合計は95.8%でした。

問(21) 今後立川市の取組で重要視することとのクロス集計において、「思う」「どちらかと言えば思う」でどのような違いがあるかを確認したところ、特に目立った違いは見られませんでした。

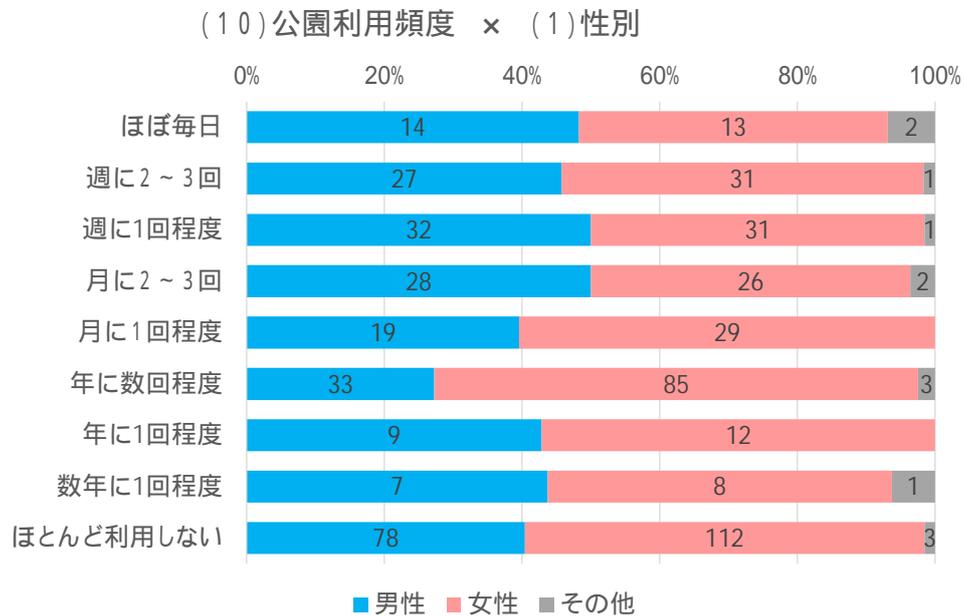
問(6) 今後も住みたい × 問(4) お住まいの地域



今後も住みたいと「思う」地域は、「北部東地域」「南地域」「北部中地域」「中央地域」は7割以上ですが、一方で、「北部西地域」は6割以下です。

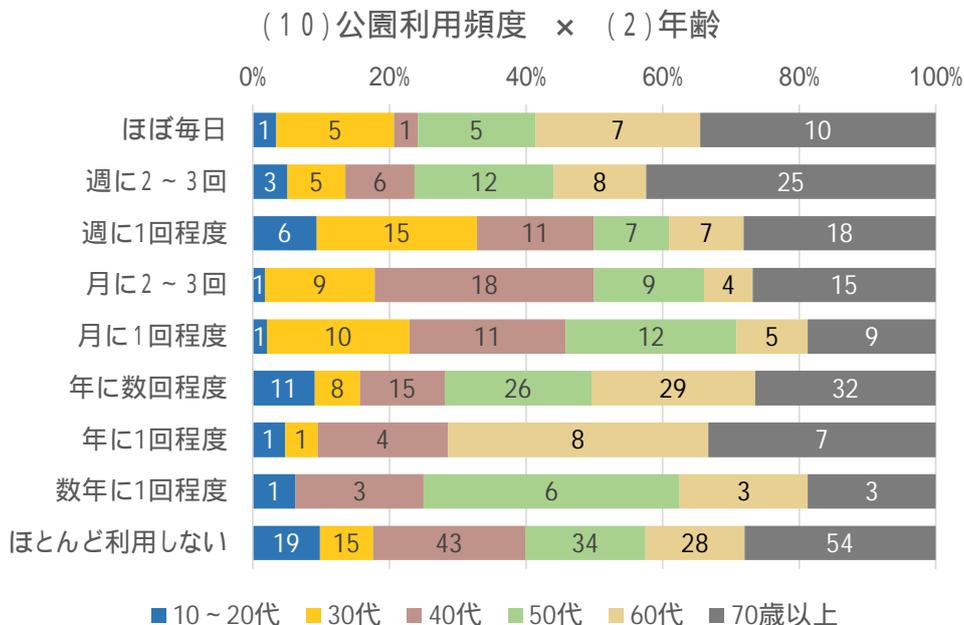
3 - 3 公園の利活用について

問(10) 公園利用頻度 × 問(1) 性別



月に2~3回以上公園を利用するのは男女ほぼ同じ割合でした。
月に1回程度以下公園を利用するのは、女性の方が高い傾向でした。

問(10) 公園利用頻度 × 問(2) 年齢



週に2~3回以上公園を利用するのは50代以上が約7.5割以上を占めています。
週に1回程度、月に2~3回、月に1回程度については、10~20代、30代、40代が占める割合も併せて5割程度となっています。

問(10) 公園利用頻度 × 問(11) 公園で何をするか



問(11)にて、公園利用として「散歩をする」が最多で41.3%、「通り道として通過する」は次いで35.8%でした。

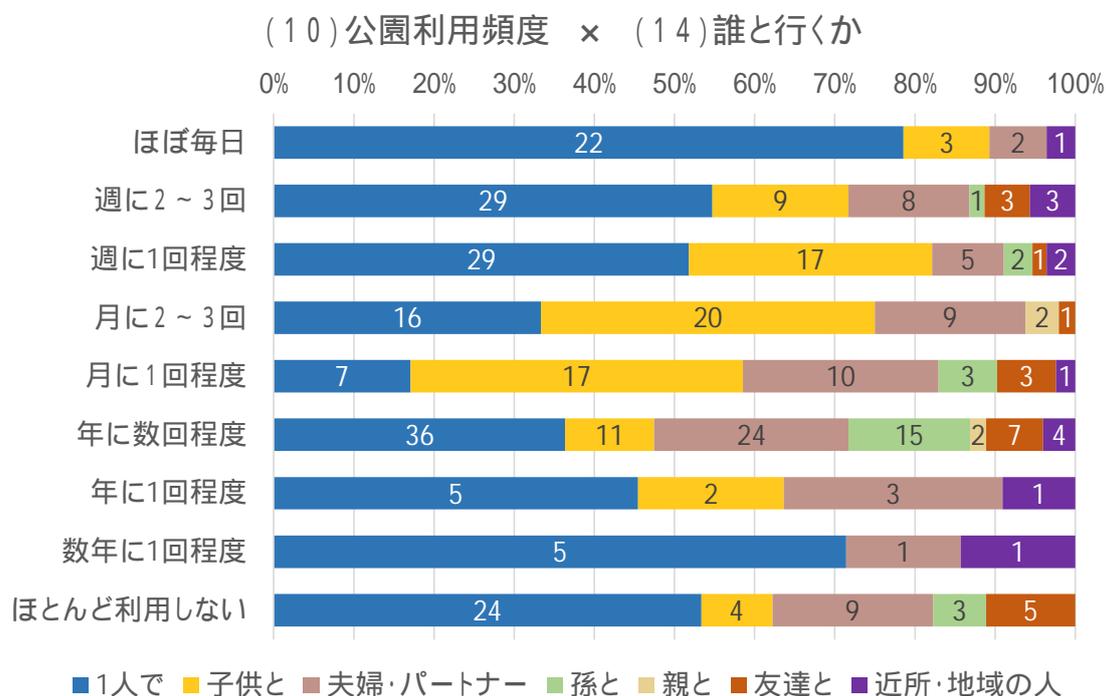
問(10)の公園利用頻度とクロスをとると、「通り道として通過する」との回答は、公園を「ほとんど利用しない」と回答した人に顕著に多くなっています。

概ね、公園をより頻繁に利用するグループにおいて、より多様な公園利用が見られます。

「子どもを遊ばせる」は週に1回程度、月に2~3回、月に1回程度で割合が高くなっています。

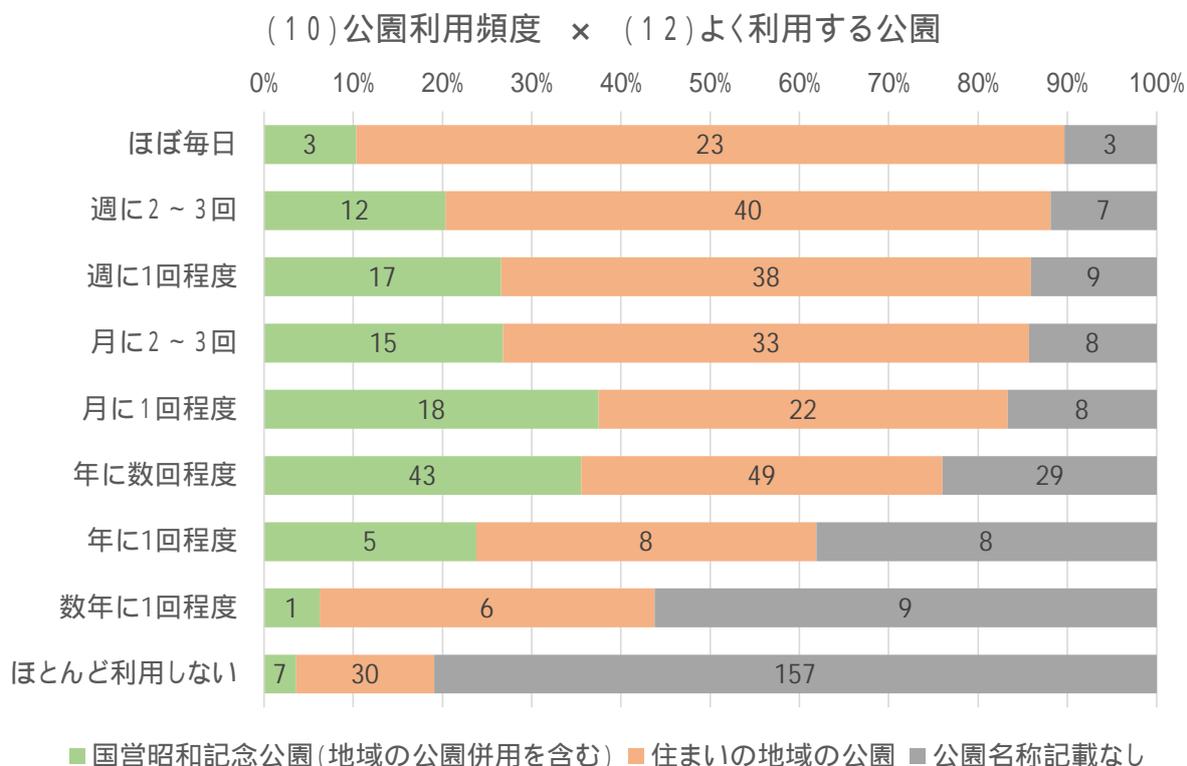
「花や自然を楽しむ」は月に1回程度、年に数回程度で多くなっています。

問(10) 公園利用頻度 × 問(14) 公園に誰と行くか



週に1回程度以上公園を利用するのは「一人で」が最多であり、月に「1~3回」利用するのは「子どもと」が最多です。

問(10) 公園利用頻度 × 問(12) よく利用する公園



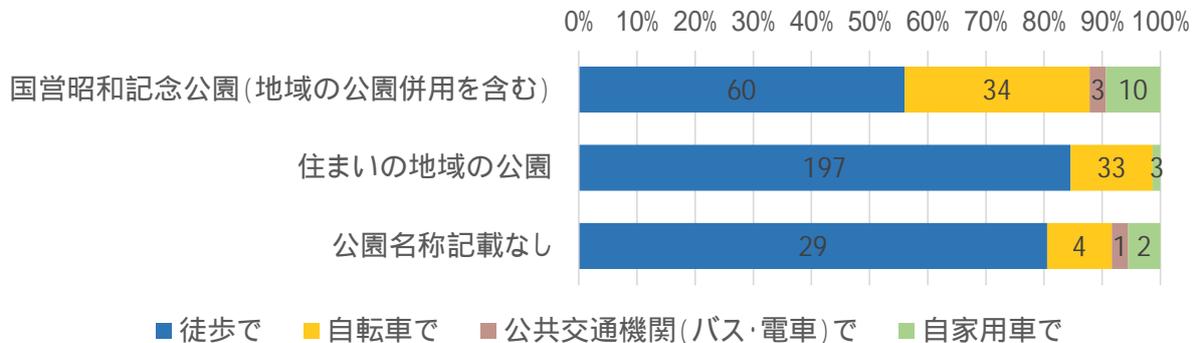
設問(12) よく利用するお住まいの近くの公園(自由記述)の回答を、「国営昭和記念公園(昭和記念公園と地域の公園の複数回答含む)」、「住まいの地域の公園(団地内の公園、他市の公園、複数回答含む)」、「公園名記載なし」の3つに分類し、利用頻度とのクロス集計を行った結果、国営昭和記念公園の利用は月に1回程度の回答が最多でした。

月に一回程度より利用頻度が高い回答者については、利用頻度が高まるほど、住まいの地域の公園の割合が増加しています。

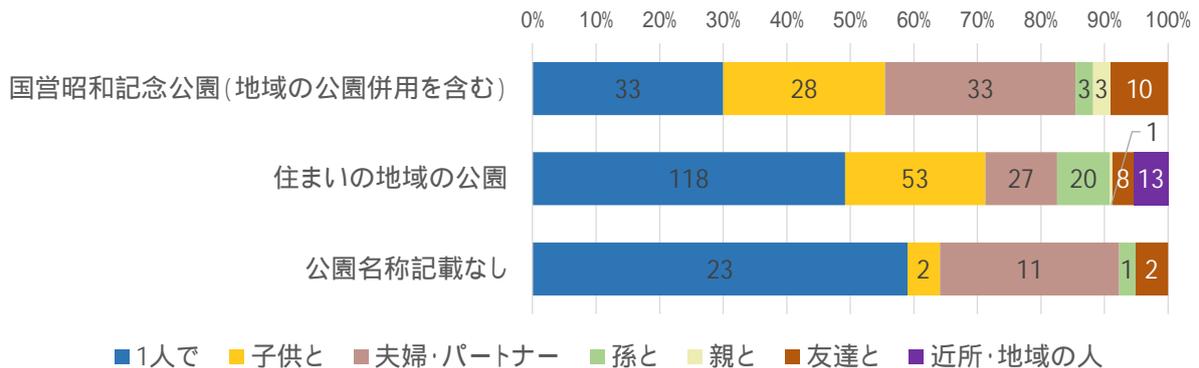
問(12)よく利用する公園 × 問(13)交通手段

問(12)よく利用する公園 × 問(14)誰と行くか

問(12)よく利用する公園 × (13)交通手段



(12)よく利用する公園 × (14)誰と行くか



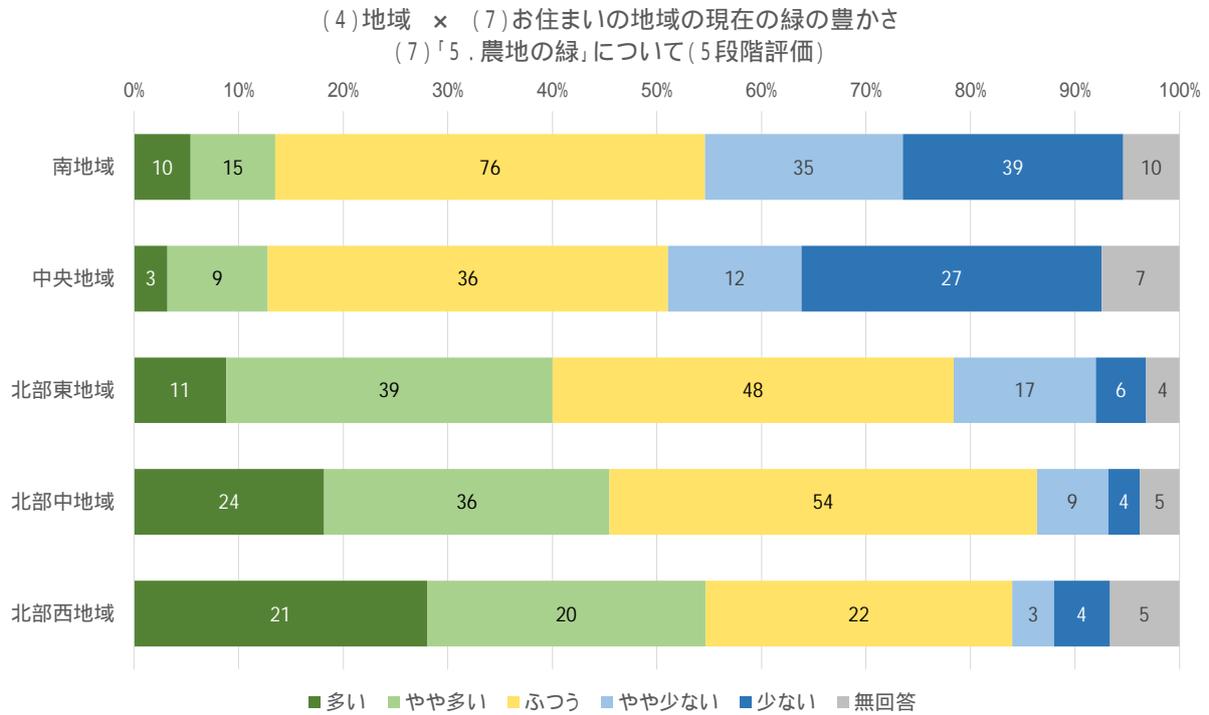
住まいの地域の公園へは「徒歩で」行く人の割合が8割以上です。国営昭和記念公園については、「自転車」「公共交通機関」「自家用車」の割合が増加します。

住まいの地域の公園には、順に「一人で」、「子供と」、「夫婦・パートナー」で行くの回答が多いです。国営昭和記念公園については、「一人で」と「夫婦・パートナー」が同数で最多であり、次いで「子供と」が多いです。

「近所・地域の人」と行くのは住まいの地域の公園のみの回答です。

3 - 4 地域別分析

問(4) 地域 × 問(7) お住まいの地域の現在の緑の豊かさ(農地の緑)



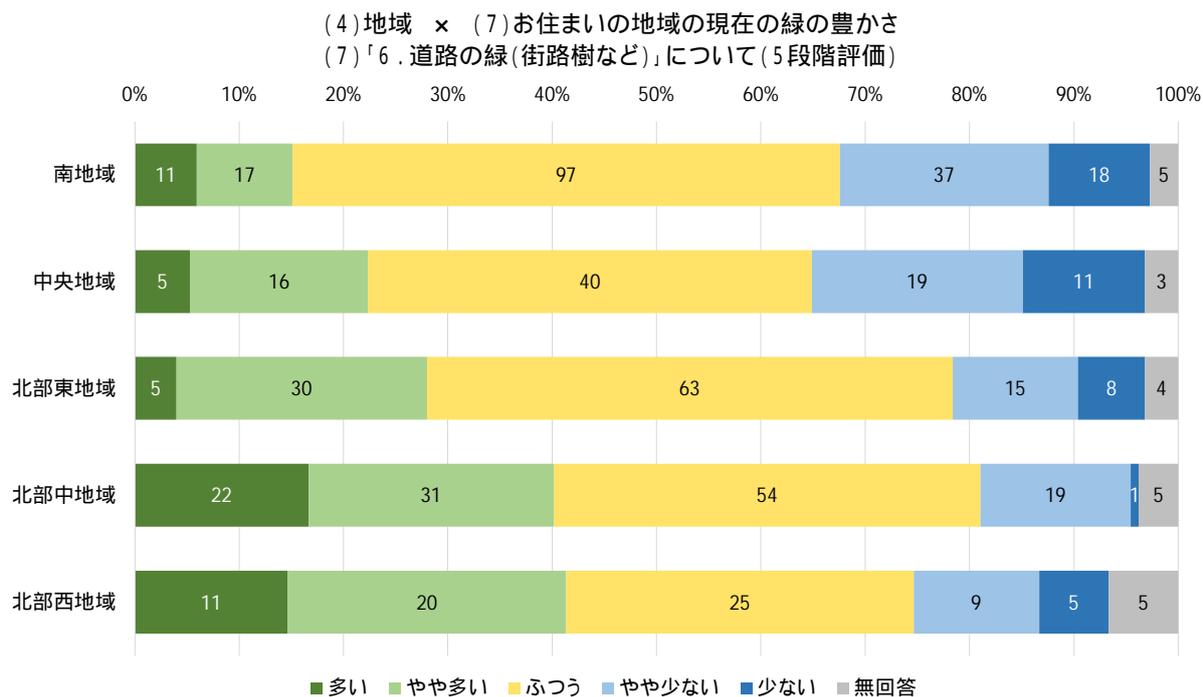
「農地の緑」に着目して、(4) 地域と(7) お住まいの地域の現在の緑の豊かさのクロス集計を行いました。

いずれの地域においても最多は「ふつう」でした。

「北部東地域」、「北部中地域」、「北部西地域」で「多い・やや多い」が4割を超えています。

一方、「南地域」「中央地域」では「少ない・やや少ない」が4割を超えています。

問(4)地域 × 問(7)住まいの地域の現在の緑の豊かさ(道路の緑(街路樹など))

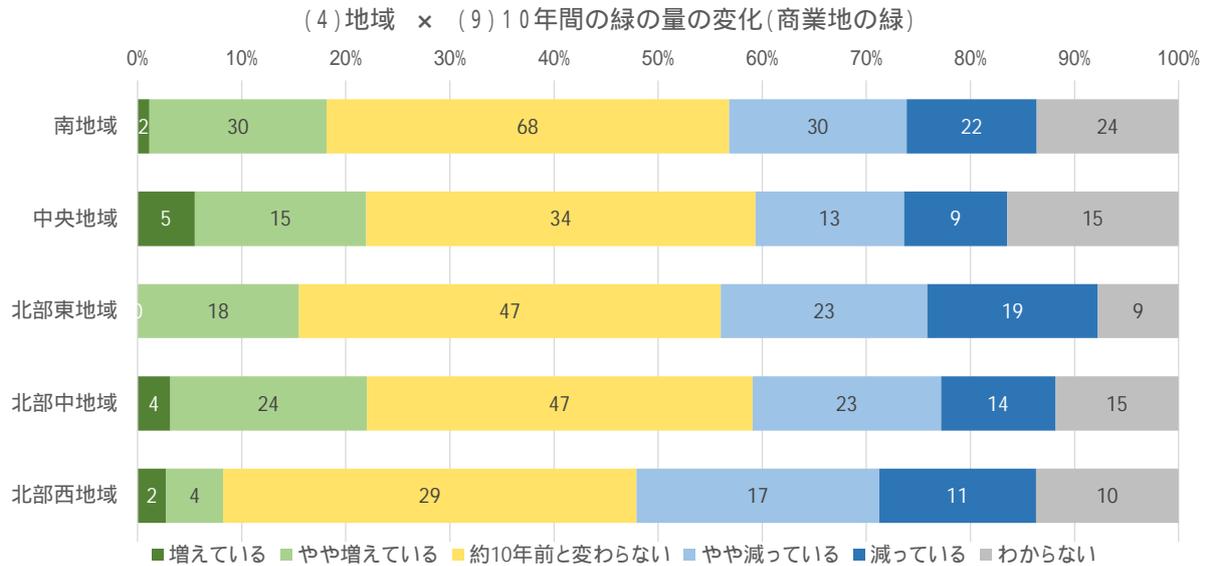


「道路の緑(街路樹など)」に着目して、問(4)地域と問(7)お住まいの地域の現在の緑の豊かさのクロス集計を行いました。

いずれの地域も「ふつう」が最多でした。

「多い・やや多い」は、「北部中地域」、「北部西地域」で4割を超えています。五日市街道のケヤキ並木が影響していると考えられます。

問(4)地域 × 問(9)10年間の緑の量の変化(商業地の緑)

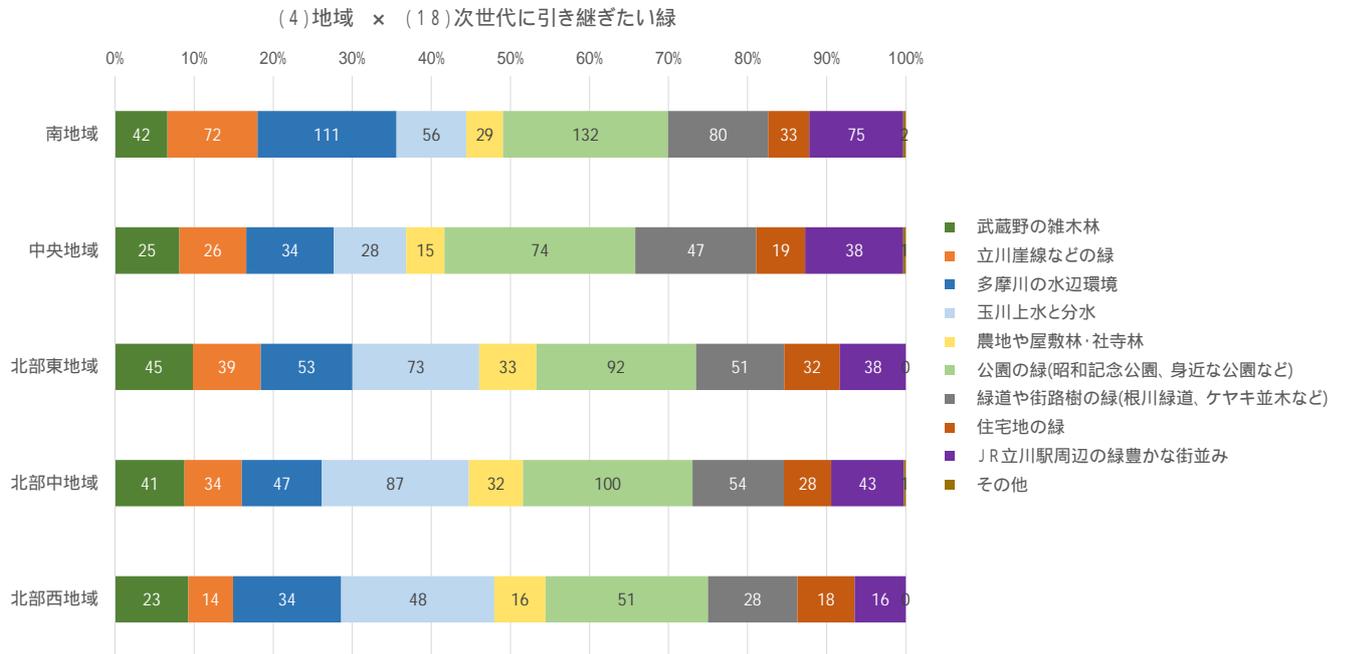


「商業地の緑」に着目して、問(4)地域と問(9)10年間の緑の量の変化のクロス集計を行いました。

いずれの地域も「約10年前と変わらない」が最多でした。

単純集計では、「増えている・やや増えている」は16.9%、「やや減っている・減っている」は29.6%でしたが、「南地域」、「中央地域」、「北部中地域」では「増えている・やや増えている」と「やや減っている・減っている」が同数程度でした。「北部東地域」、「北部西地域」では「やや減っている・減っている」が「増えている・やや増えている」を上回っています。

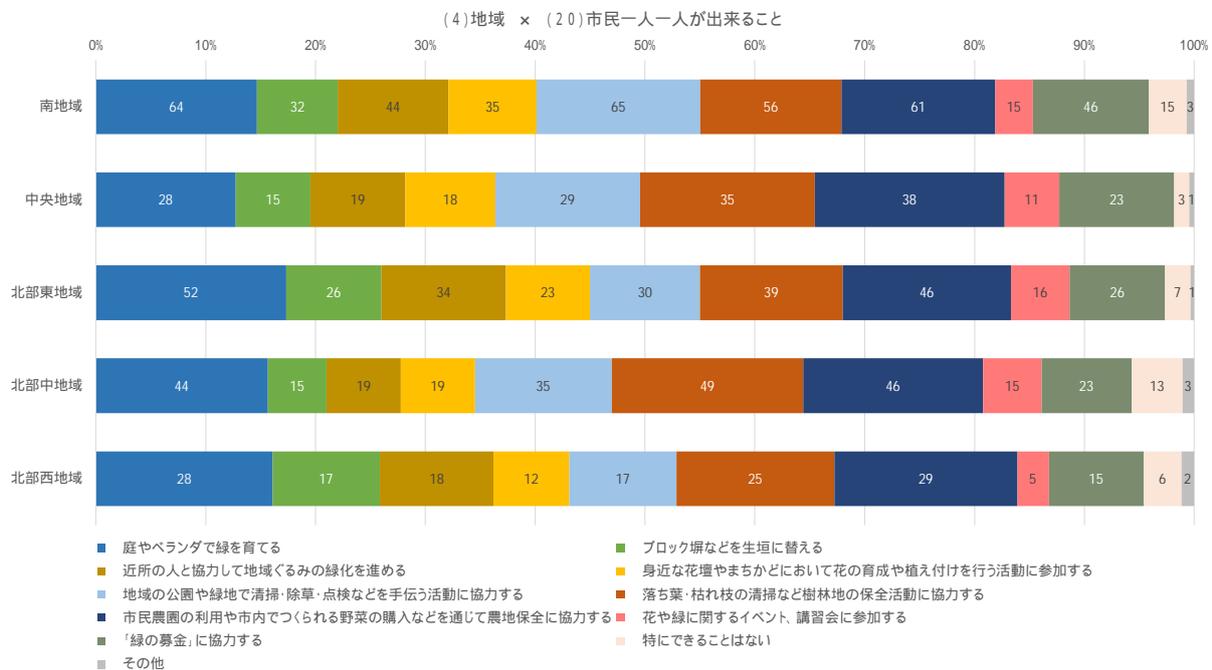
問(4) 地域 × 問(18) 次世代に引き継ぎたい緑



地域別にみた「次世代に引き継ぎたい緑」では、共通して「公園の緑」の選択割合が高いです。

北部は「玉川上水と分水」の割合が高い傾向で、南部は「立川崖線などの緑」と「多摩川の水辺環境」の割合が他の地域よりも高い傾向であり、各地域を特徴づける緑を「次世代に引き継ぎたい緑」と捉えているようです。

問(4)地域 × 問(20)市民一人一人が出来ること



市民一人一人が出来ることについて伺った問(20)は、自分自身ができることについて伺った前回調査と比較し、単純集計結果では、「市民農園の利用や市内で作られる野菜の購入などを通じて農地保全に協力する」、「落ち葉・枯れ葉の清掃など樹林地の保全活動に協力する」の回答割合が大きく増加しました。

問(20)と、問(4)地域のクロス集計を行い、上記の2種類の回答に着目します。

「市民農園の利用や市内で作られる野菜の購入などを通じて農地保全に協力する」、「落ち葉・枯れ葉の清掃など樹林地の保全活動に協力する」とともに、大きな地域差は見られませんでした。

問(4)地域 × 問(21)今後立川市の取組で重要視すること(5段階評価)

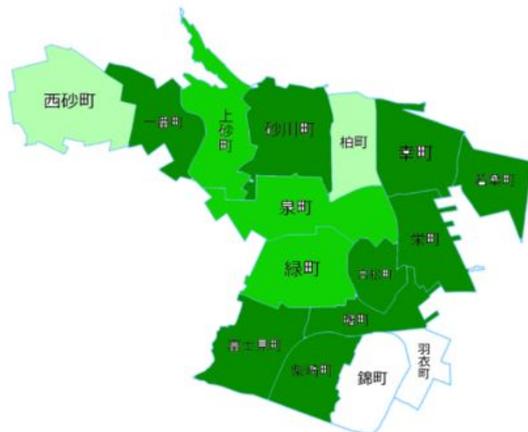
問(21)今後立川市の取組で重要視することについて、問(4)地域とのクロス集計を行いました。

問(21)の選択肢は以下の15項目です。地域毎に、重要視する取組の上位3つを整理したところ、15項目のうち、1、3、4、7、8、9が、以下の表に示す地域において上位3つに含まれていました。

1. 自然環境として貴重な樹木や樹林の保全
2. 立川崖線の緑の保全
3. 河川環境や玉川上水・分水の水辺の保全
4. サンサンロード・市内の緑道・立川崖線・玉川上水などの緑のネットワーク
5. 農地や屋敷林の保全
6. 新しい公園の整備
7. 今ある公園の整備・改修
8. 道路の緑化と緑の適切な維持管理
9. 公共施設の緑化と緑の適切な維持管理
10. 住宅地や企業地における多様な緑化(生垣、壁面緑化、屋上緑化など)の支援
11. 開発事業における緑化の誘導
12. 身近な公園や街中の花壇などを管理する団体の育成
13. 市民や事業者と連携した公園、広場などの管理・活用
14. 緑に関する市民、事業者の普及啓発
15. 生きものの生息場所となる緑の保全・創出

「1. 自然環境として貴重な樹木や樹林の保全」

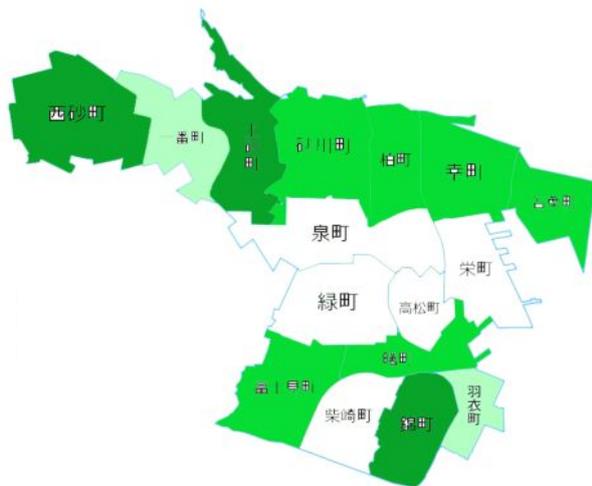
「1. 自然環境として貴重な樹木や樹林の保全」 が1番重要だった地域	富士見町、柴崎町、曙町、高松町、栄町、 若葉町、幸町、砂川町、一番町
2番目に重要だった地域	緑町、泉町、下砂町
3番目に重要だった地域	柏町、西砂町



「1. 自然環境として貴重な樹木や樹林の保全」は最も多くの地域で最も重要視されています。

「3. 河川環境や玉川上水・分水の水辺の保全」

「3. 河川環境や玉川上水・分水の水辺の保全」が1番重要だった地域	錦町、上砂町、西砂町
2番目に重要だった地域	富士見町、曙町、若葉町、幸町、柏町、砂川町
3番目に重要だった地域	羽衣町、一番町



「3. 河川環境や玉川上水・分水の水辺の保全」は、北部と南部の一部で特に重要視されています。

「4. サンサンロード・市内の緑道・立川崖線・玉川上水などの緑のネットワーク」

「4. サンサンロード・市内の緑道・立川崖線・玉川上水などの緑のネットワーク」が1番重要だった地域	該当なし
2番目に重要だった地域	柴崎町、栄町
3番目に重要だった地域	高松町、砂川町、上砂町



「4. サンサンロード・市内の緑道・立川崖線・玉川上水などの緑のネットワーク」は、1番だった地域はありませんでしたが、中央地域の東側や JR 立川駅に近い地域の一部、北部中地域で特に重要視されています。

「7. 今ある公園の整備・改修」

「7. 今ある公園の整備・改修」が1番重要だった地域	羽衣町、緑町、泉町、柏町
2番目に重要だった地域	該当なし
3番目に重要だった地域	富士見町、曙町



「7. 今ある公園の整備・改修」は、中央地域、北部中地域と南地域の一部で特に重要視されています。

「8. 道路の緑化と緑の適切な維持管理」

「8. 道路の緑化と緑の適切な維持管理」が1番重要だった地域	該当なし
2番目に重要だった地域	羽衣町、高松町、一番町、西砂町
3番目に重要だった地域	柴崎町、曙町、栄町、若葉町



「8. 道路の緑化と緑の適切な維持管理」は、1番だった地域はありませんでしたが、北西部と東部で重要視されています。

「9. 公共施設の緑化と緑の適切な維持管理」

「9. 公共施設の緑化と緑の適切な維持管理」が1番重要だった地域	該当なし
2番目に重要だった地域	該当なし
3番目に重要だった地域	幸町



「9. 公共施設の緑化と緑の適切な維持管理」は、1番、2番だった地域はありませんでしたが、幸町では3番でした。

4 考察

4 - 1 立川市内の緑について

立川市内の緑の種類別に、ご意見を整理しました。

種類	豊かさ・増減について	今後のニーズについて	考察
樹林などの自然の緑	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな緑と認識 ・10年前と変わらないとの認識が最多だが、増加している認識よりは減少しているとの認識が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き継ぎたい緑として、立川崖線の緑や武蔵野の雑木林との回答は少ない ・増えてほしい緑として樹林などの自然との回答は多い ・自然環境として貴重な樹木や樹林の保全を重要視との回答が最多 ・市民ができることとして樹林地の保全活動との回答は多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな緑として今後も継承していくとともに、自然の緑が確保できる場合には新たにこれを確保していくことが求められています。 ・立川崖線の緑や武蔵野の雑木林が「樹林などの自然の緑」であるとの認識があまり強くない可能性があります。 ・市民ができることとして樹林地保全活動との認識は多いことから、実際の行動へのきっかけづくりが重要と考えられます。
身近な公園の緑	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな緑と認識 ・10年前と変わらないとの認識が最多だが、増加している認識よりは減少しているとの認識が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き継ぎたい緑として、公園の緑（昭和記念公園、身近な公園など）の回答は最多 ・増えてほしい緑としての回答は最多 ・今ある公園の再整備・改修を重要視との回答が上位 ・新しい公園の整備を重要視との回答は最下位 ・市民ができることとして、地域の公園や緑地での清掃活動等との回答が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな緑として今後も継承していくことが求められています。 ・増えてほしい緑ではあるものの新しい公園の整備はあまり重要視されていないことから、既存の公園において質の充実を図っていくことが求められているとも考えられます。 ・市民ができることとして地域の公園や緑地での清掃活動等との認識は多いことから、実際の行動へのきっかけづくりが重要と考えられます。

種類	豊かさ・増減について	今後のニーズについて	考察
河川、水路などの水辺の緑	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな緑と認識 ・10年前と変わらないとの認識が最多だが、増加している認識よりは減少しているとの認識が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き継ぎたい緑として、玉川上水と分水、多摩川の水辺環境との回答は上位 ・増やしたい緑としての回答は下位 ・河川環境や玉川上水・分水の水辺の保全を重要視との回答が上位 	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな緑として今後も継承し、水辺環境を保全していくことが求められています。
農地の緑	<ul style="list-style-type: none"> ・10年前と変わらないとの認識が最多だが、増加している認識よりは減少しているとの認識が多い ・「北部東地域」,「北部中地域」,「北部西地域」で豊かな緑と認識 ・農地や生きものとのふれあいについての満足度は平均的。環境学習の満足度は低い <small>参考1</small> ・20代の地産地消の行動が少ない <small>参考2</small> 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き継ぎたい緑として、農地や屋敷林・社寺林との回答は最下位 ・増やしたい緑としては最下位 ・農地や屋敷林の保全を重要視するとの回答は下位 ・市民ができることとして、農地の保全活動への協力との回答は最多 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き継ぎたい緑、増やしたい緑としてはあまり認識されていません。農地の緑の価値をさらに伝えていくことが重要と考えられます。 ・市民ができることとして農地の保全活用への協力との認識は多いです。特に若い世代の地産地消への関心を高めていくことも課題です。
道路の緑	<ul style="list-style-type: none"> ・10年前と変わらないとの認識が最多だが、増加している認識よりは減少しているとの認識が多い ・「北部中地域」,「北部西地域」で豊かな緑の認識 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き継ぎたい緑として、緑道や街路樹の緑との回答は上位 ・増えてほしい緑としての回答は上位 ・道路の緑化と緑の適切な維持管理を重要視するとの回答は上位 ・自由記述では、強剪定、枝の管理、落ち葉の清掃に関する意見が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継承していくとともに、道路の緑が確保できる場合には新たにこれを確保していくこと、剪定や落ち葉の清掃など適切な維持管理を行っていくことが求められています。

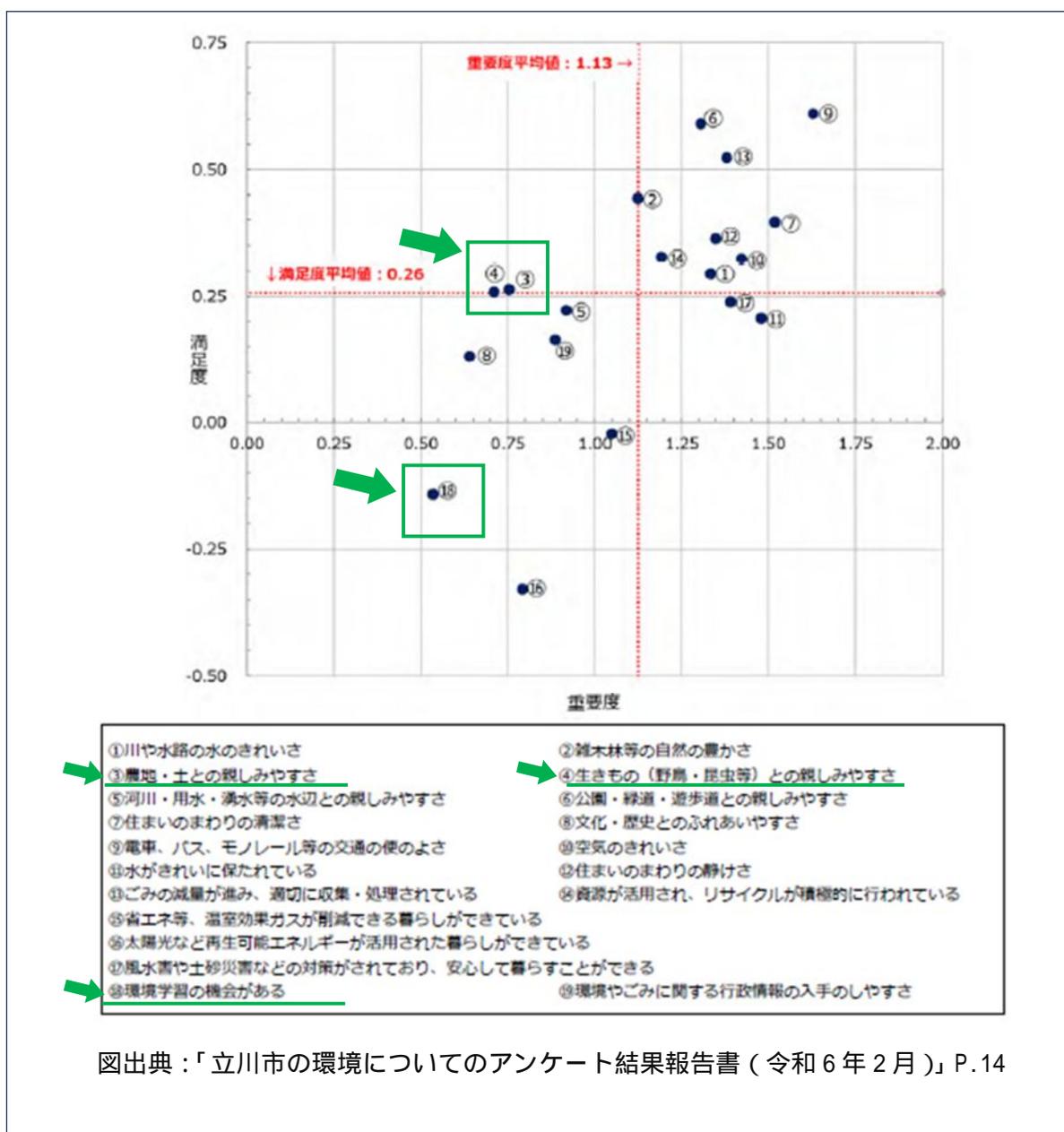
種類	豊かさ・増減について	今後のニーズについて	考察
住宅地の緑	<ul style="list-style-type: none"> ・10年前と変わらないとの認識が最多だが、増加している認識よりは減少しているとの認識が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き継ぎたい緑としては下位 ・増えてほしい緑としては中位 ・住宅地や企業地における多様な緑化（生垣、壁面緑化、屋上緑化）の視点を重要視するとの回答は下位 ・市民ができることとして、庭やベランダで緑を育てるとの回答が上位 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き継ぎたい、増えてほしいとの認識はあまり強くない印象です。 ・一方、市民ができることとして庭やベランダで緑を育てるとの認識は多いです。
商業地の緑	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな緑と認識するとの回答は最下位 ・10年前と変わらないとの認識が最多だが、増加している認識よりは減少しているとの認識が多い ・ただし、増えた認識は緑の種類の中で最多。前回調査からも、増えた認識が大きく増加 ・自由記述等において「グリーンスプリングス」「ファーレ立川」が具体的な施設名として挙げられている <small>参考3</small> 	<ul style="list-style-type: none"> ・増えてほしい緑としての回答は中位 ・住宅地や企業地における多様な緑化（生垣、壁面緑化、屋上緑化）の支援を重要視するとの回答は下位 	<ul style="list-style-type: none"> ・増えた緑との認識が高まっています。 ・住宅地や企業地における多様な緑化の支援はあまり重視されていないようです。

<参考>

「立川市の環境についてのアンケート結果報告書（令和6年2月）」（以下、環境アンケート）にも考察の際にあわせて参考としています。

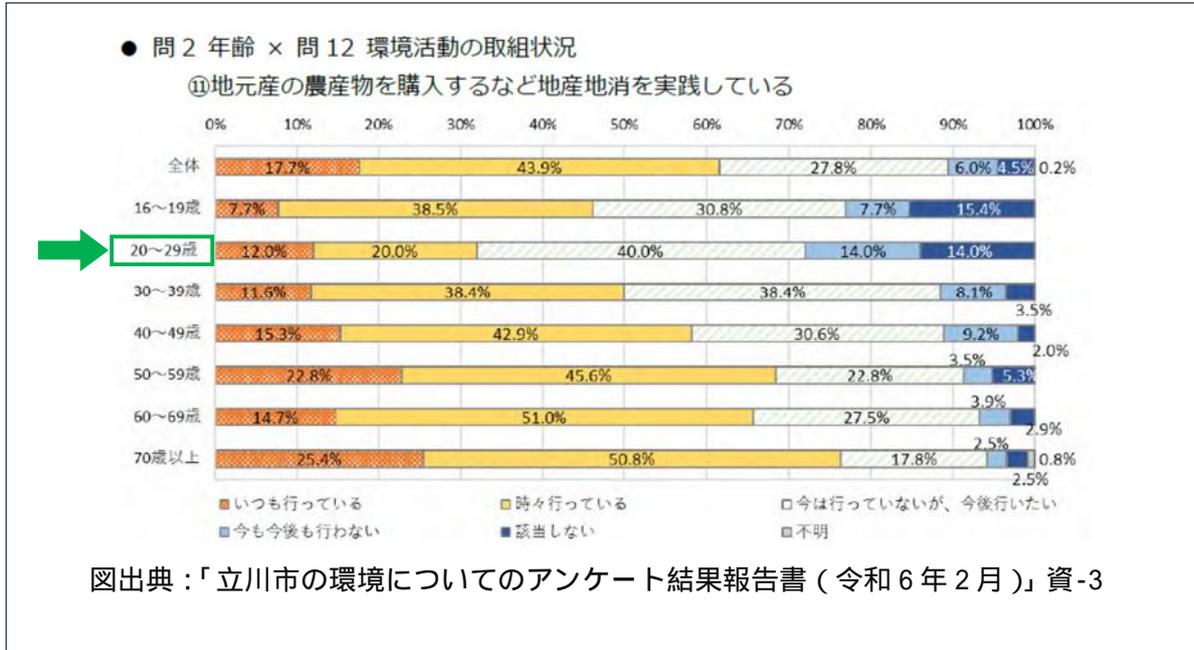
参考1

・環境アンケートで立川市の環境について重要度と満足度を伺っていますが、農地の緑に関連すると考えられる「農地・土との親しみやすさ」、「生きもの（野鳥、昆虫等）との親しみやすさ」、「環境学習の機会がある」に着目すると、「農地・土との親しみやすさ」、「生きもの（野鳥、昆虫等）との親しみやすさ」については満足度は平均ですが重要度はやや低くなっています。また、「環境学習の機会がある」の満足度と重要度が平均よりも低くなっています。



参考2

- ・環境アンケートの地産地消の取組状況と年齢のクロス集計結果では、20代の方々の地産地消が少ない傾向です。



参考3

- ・環境アンケートの将来に向けて残したい身近な自然や環境についての設問で「グリーンスプリングス」「ファーレ立川」が具体的な施設名として記載されていました。施設の中に緑があるときれい、都市と緑化の融合施設、といった記載もあります。

(3) 将来に向けて残したい身近な自然や環境

問10 立川市内の身近な自然や環境で、将来に向けて残したい場所がある場合は、具体的な地名とその理由をご記入ください。

立川市内の身近な自然や環境で、将来に向けて残したい場所を聞いたところ、延べ509件の回答がありました。

地名	件数	理由(抜粋)
昭和記念公園	133	緑が多く自然豊か。立川市のシンボル。世代を問わず楽しめる。四季折々の植物を楽しめる。憩いの場。空気がきれい。
玉川上水と緑道・緑地	121	澄み切った水のせせらぎと緑に癒される。ホタルが住むきれいな小川。豊かな自然と生態系を楽しみながら散歩できる場所。
根川緑道・桜並木	62	桜並木の美しさ。桜や緑の木々に、水の流れに癒される。カフセミ・シラサギなど野鳥が多く飛来する。四季を感じる。
残堀川・桜並木	20	春は桜に菜の花が満開。野鳥(カフセミやサギ)が飛び回っている。ホタルがいる。自然を残したい・埋める理由はない。
諏訪の森公園・諏訪神社	19	閑静な森につつまれた場所。立川の祭り文化や伝統、歴史を守るために環境整備や保護を継続して欲しい。緑豊かで子供も遊べる。
多摩川緑地・河川敷	18	朝の鳥のさえずり。海がない立川で、広くて気持ちがいいところ。緑にふれて散歩ができる。自然環境が整備されている。
栄緑地・遊歩道	15	緑が多く、癒される。車の通行を気にせず散歩できる。自然環境が整備されている。
矢川緑地	12	湧き水のキレイな川。豊かな生態系に恵まれた場所。樹林地帯が広がる癒しの場所。緑が豊かでリフレッシュできる。
農地・農家 (農業試験場、市民農園、西砂町周辺の畑など含む)	10	解放され、四季の花・緑に気持ちが休まる。土に親しみ、体の健康管理に役立つ。立川市でとれた野菜や果物をいただきたい。
グリーンスプリングス	9	都市と緑化の融合施設。文化と自然の共生を感じられ、対外的にも非常に魅力的なエリア。緑豊かで落ちついている。
公園全般	8	子ども達に残してあげたい。これ以上無くしてほしくない。
桜並木 (中央南北線、泉体育館、柴崎町～富士見町など含む)	7	四季を感じる事ができる。桜がきれい。夏は木陰がで涼しい。
ガニガラ広場・公園・田んぼ	5	憩いの場。四季が楽しめる。本物の水田を子供たちに見せたい。
川越道緑地	4	古くからの武蔵野の森のようなたたずまいが感じられる。
緑道、遊歩道	4	散歩や運動で気持ち良く通れる。車を気にせず歩ける所は大事。
立川公園	3	桜並木がきれい。カフセミがくる。
錦第二公園(鬼公園)	3	数々の映画やドラマ、アニメで取り上げられた有名な公園。
高砂公園	2	桜がきれいな広い公園。
古民家園	2	昔の住宅を実際に見ることができる。
砂川の木々・けやき	2	少なくなったが、残っているものだけでも残してほしい。
ファーレ立川	2	立川の芸術に関する魅力が伝わる。
一番町	2	木々が綺麗に植えられている。

図出典：「立川市の環境についてのアンケート結果報告書(令和6年2月)」P.7

4 - 2 お住まいの地域の公園について

お住まいの地域の公園について、ご意見を整理しました。

< 公園の利用頻度 >

「ほとんど利用しない」が最多です。月 1 回以上の合計は、「ほとんど利用しない」を上回っています。

前回調査より月 1 回以上公園を利用する回答の合計が 6.2 ポイント増加し、「ほとんど利用しない」は 5.3 ポイント減少しています。

新型コロナウイルス感染拡大によって在宅勤務が増加し、身近な公園に出かける頻度が高くなったといった背景も考えられます。

週に 2~3 回以上公園を利用するのは 50 代以上が約 7.5 割以上、60 代以上が約 6 割を占めています。

週に 1 回程度、月に 2~3 回、月に 1 回程度については、10~20 代、30 代、40 代が占める割合も併せて 5 割程度となっています。

< 利用目的 >

公園利用として「散歩をする」、「通り道として通過する」が多いです。「通り道として通過する」との回答は、公園を「ほとんど利用しない」と回答した人に顕著に多くなっています。

「子どもを遊ばせる」は週に 1 回程度、月に 2~3 回、月に 1 回程度で割合が高くなっています。

「花や自然を楽しむ」は月に 1 回程度、年に数回程度で多くなっています。

< よく行く公園 >

よく行く公園について、単独の公園では国営昭和記念公園が 108 件で最多でした。次いで立川公園（根川緑道・ガニガラ広場）19 件、見影橋公園 10 件となっています。

< よく行く公園への交通手段 >

よく行く公園へは「徒歩で」行く人の割合が大半です。

よく行く公園が国営昭和記念公園である場合については、「自転車」「公共交通機関」「自家用車」の割合が増加します。

< よく行く公園へ誰と行くか >

週に 1 回程度以上公園を利用するのは「一人で」が最多であり、月に「1~3 回」利用するのは「子どもと」が最多です。

<よく行く公園の良いところ>

「住まいから近い」が最も多く、次いで「広々としている」、「花や緑が豊かである」となっています。

<住まいの地域の公園の不満に感じる場所>

「特に不満はない」が最多です。次いで、「狭い」、「遊具が少ない」、「休憩場所が少ない」、「花や緑が少ない」となっています。

前回調査と比較して、不満に感じる場所についての回答は減少していますが、「禁止事項が多い」が2.5ポイント、「花や緑が少ない」が1.4ポイント増加しています。

考察

公園の利用頻度が高まってきていることから、この傾向を持続、拡大させてさらに公園を利活用していただくとともに、地域の公園での清掃活動等の維持管理にも関わっていただけるきっかけをつくり出していくことが重要と考えられます。

公園において質の充実を図っていく際には、週に数回程度公園を利用することの多い子育て世代の方々やより頻繁に公園を利用することの多い50代や60代以上の方々について、行動パターンやニーズに対応したものとしていくことが重要と考えられます。

4 - 3 その他

「グリーンインフラ」の考え方を踏まえ、立川市において重要と考えられる社会課題について、「子育て」が最も多く、次いで「災害に強い都市の形成」、「暑熱対策・ヒートアイランド現象への対策」、「良好な景観の形成」、「保健・福祉」と続きました。それぞれの社会課題を選択した回答者について、次世代に引き継ぎたい緑、今後増えてほしい緑のクロス集計を行った結果、いずれも社会課題による大きな相違は無く類似傾向を示したことから、多様な緑について幅広く、社会課題への対応を検討することが求められているといえます。

今後も住み続けたいと思うとの回答は「北部東地域」、「南地域」、「北部中地域」、「中央地域」は7割以上ですが、「北部西地域」は6割以下であることから、「北部東地域」、「南地域」、「北部中地域」、「中央地域」の魅力を引き続き高めていくとともに、「北部西地域」は特に留意して地域の魅力を高めていくことが求められているといえます。

【参考】立川市緑の基本計画に係るアンケート調査 調査票



立川市緑の基本計画に係るアンケート調査

選択式の回答は、該当箇所のマーク○を塗りつぶしてご回答ください。

○: 空白マーク ●: 正しいぬりつぶし ◐: 不十分なぬりつぶし

記述式の回答は、回答欄からはみ出さないように記入してください。

この用紙は機械で処理します。回答欄以外に書き込みをしたり、用紙を汚したりしないように注意してください。また、ご記入は黒または青のボールペンか、HB以上の濃さの黒鉛筆をお願いします。

【以下の各項目について、令和5年12月1日現在の状況でお答えください。】

あなたご自身について

(1) あなたの性別についてお聞かせください。(1つを選択)

- 男性 女性 その他・答えたくない

(2) あなたの年齢(満年齢)についてお聞かせください。(1つを選択)

- 18歳～29歳 30歳～39歳 40歳～49歳 50歳～59歳
 60歳～69歳 70歳以上

(3) 立川市での居住年数についてお聞かせください。(1つを選択)

- 1年未満 1年以上5年未満 5年以上10年未満
 10年以上20年未満 20年以上

(4) あなたが現在【お住まいの地域】についてお聞かせください。(1つを選択)

- 富士見町 柴崎町 錦町 羽衣町 曙町 高松町
 緑町 泉町 栄町 若葉町 幸町 柏町
 砂川町 上砂町 一番町 西砂町

(5) お住まいの種類についてお聞かせください。(1つを選択)

- 一戸建て(持家) 一戸建て(賃貸) 集合住宅(持家)
 集合住宅(賃貸) その他(寮、官舎など)

(6) あなたは、これからも立川市に住み続けたいと思いますか。(1つを選択)

- 思う どちらかと言えば思う どちらかと言えば思わない 思わない

→裏面へ続く



★マークのしかた



立川市内の緑について

(7) あなたは、【お住まいの地域】の現在の緑の豊かさをどのように感じていますか。お住まいの地域は、ご自宅の近所（概ね設問(4)で選択した地域）をイメージしてください。（項目ごとに1つを選択）

		選択肢				
		多い	やや多い	ふつう	やや少ない	少ない
1	樹林などの自然の緑	○	○	○	○	○
2	身近な公園の緑	○	○	○	○	○
3	住宅地の緑	○	○	○	○	○
4	商業地の緑	○	○	○	○	○
5	農地の緑	○	○	○	○	○
6	道路の緑（街路樹など）	○	○	○	○	○
7	河川、水路などの水辺の緑	○	○	○	○	○

(8) あなたは、【立川市全体】の現在の緑の豊かさをどのように感じていますか。（項目ごとに1つを選択）

		選択肢				
		多い	やや多い	ふつう	やや少ない	少ない
1	樹林などの自然の緑	○	○	○	○	○
2	身近な公園の緑	○	○	○	○	○
3	住宅地の緑	○	○	○	○	○
4	商業地の緑	○	○	○	○	○
5	農地の緑	○	○	○	○	○
6	道路の緑（街路樹など）	○	○	○	○	○
7	河川、水路などの水辺の緑	○	○	○	○	○

★マークのしかた



(9) 約10年前（10年以内に引っ越してこられた方はその時から）と比べて、【立川市全体】の緑の量は増えていると思いますか。（項目ごとに1つを選択）

		選択肢					
		増えている	やや増えている	約10年前と変わらない	やや減っている	減っている	わからない
1	樹林などの自然の緑	<input type="radio"/>					
2	身近な公園の緑	<input type="radio"/>					
3	住宅地の緑	<input type="radio"/>					
4	商業地の緑	<input type="radio"/>					
5	農地の緑	<input type="radio"/>					
6	道路の緑（街路樹など）	<input type="radio"/>					
7	河川、水路などの水辺の緑	<input type="radio"/>					

お住まいの地域の公園について

(10)あなたは、【お住まいの地域】の公園をどのくらいの頻度で利用していますか。（1つを選択）

- ほぼ毎日 週に2～3回 週に1回程度
 月に2～3回 月に1回程度 年に数回程度
 年に1回程度 数年に1回程度 ほとんど利用しない

(11)あなたは、【お住まいの地域】の公園で主に何をしますか。（複数選択可）

- 散歩をする 子どもを遊ばせる 友人・知人と遊ぶ
 軽い運動をする 花や自然を楽しむ のんびり休む
 公園内の施設を利用する 催し物に参加する 犬の散歩をする
 植物の手入れや清掃などの活動に参加する 通り道として通過する その他（ ）

(12)【お住まいの地域】であなたがよく利用する公園を一つ教えてください。利用する公園が無い場合：未記入で設問(16)へ。公園名が分からない場合：〇〇町〇丁目の公園とご記入ください。

(13) 設問(12)で記入した公園に、主にどのような手段で行っていますか。（1つを選択）

（注：立川市管理の公園内には駐車場はありません）

- 徒歩で 自転車で 公共交通機関（バス・電車）で 自家用車で

(14) 設問(12)で記入した公園に、主に誰と行っていますか。（1つを選択）

- 1人で お子様と一緒に ご夫婦で、又はパートナーと一緒に
 お孫様と一緒に 親と一緒に 祖父母と一緒に
 お友達と一緒に ご近所、地域の方々と一緒に

→裏面へ続く



- (18)【立川市内】の緑や水辺の中で、あなたが次世代に引き継いでいきたいと思うものは何ですか。(複数選択可)
- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 武蔵野の雑木林 | <input type="checkbox"/> 立川崖線などの緑(斜面林、矢川緑地)と湧水 |
| <input type="checkbox"/> 多摩川の水辺環境 | <input type="checkbox"/> 玉川上水と分水 |
| <input type="checkbox"/> 農地や屋敷林・社寺林 | <input type="checkbox"/> 公園の緑(昭和記念公園、身近な公園など) |
| <input type="checkbox"/> 緑道や街路樹の緑(根川緑道、ケヤキ並木など) | <input type="checkbox"/> 住宅地の緑 |
| <input type="checkbox"/> J R立川駅周辺の緑豊かな街並み | <input type="checkbox"/> その他() |
- (19)今後、【立川市内】のどのような緑が増えてほしいと思いますか。(複数選択可)
- | | |
|---------------------------------------|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 樹林などの自然の緑 | <input type="checkbox"/> 身近な公園の緑 |
| <input type="checkbox"/> 住宅地の緑 | <input type="checkbox"/> 商業地の緑 |
| <input type="checkbox"/> 農地の緑 | <input type="checkbox"/> 道路の緑(街路樹など) |
| <input type="checkbox"/> 河川、水路などの水辺の緑 | <input type="checkbox"/> その他() |
- (20)緑豊かなまちづくりを進めるために、市民一人一人が出来ることとして、どのようなことが必要だと思えますか。(複数選択可)
- 庭やベランダで緑を育てる
 - ブロック塀などを生垣に替える
 - 近所の人と協力して地域ぐるみの緑化を進める
 - 身近な花壇やまちかどにおいて花の育成や植え付けを行う活動に参加する
 - 地域の公園や緑地で清掃・除草・点検などを手伝う活動に協力する
 - 落ち葉・枯れ枝の清掃など樹林地の保全活動に協力する
 - 市民農園の利用や市内でつくられる野菜の購入などを通じて農地保全に協力する
 - 花や緑に関するイベント、講習会に参加する
 - 「緑の募金」に協力する
 - 特にできることはない
 - その他()

→裏面へ続く



★マークのしかた



(21)緑豊かなまちづくりを進めるための立川市の取組について、今後どのくらい重要視しますか。(項目ごとに1つを選択)

	重要	やや重要	選択肢		
			ふつう	あまり重要でない	重要でない
1 自然環境として貴重な樹木や樹林の保全	<input type="radio"/>				
2 立川崖線の緑の保全	<input type="radio"/>				
3 河川環境や玉川上水・分水の水辺の保全	<input type="radio"/>				
4 サンサンロード・市内の緑道・立川崖線・玉川上水などの緑のネットワーク	<input type="radio"/>				
5 農地や屋敷林の保全	<input type="radio"/>				
6 新しい公園の整備	<input type="radio"/>				
7 今ある公園の再整備・改修	<input type="radio"/>				
8 道路の緑化と緑の適切な維持管理	<input type="radio"/>				
9 公共施設の緑化と緑の適切な維持管理	<input type="radio"/>				
10 住宅地や企業地における多様な緑化（生垣、壁面緑化、屋上緑化など）の支援	<input type="radio"/>				
11 開発事業における緑化の誘導	<input type="radio"/>				
12 身近な公園や街なかの花壇などを管理する団体の育成	<input type="radio"/>				
13 市民や事業者と連携した公園、広場などの管理・活用	<input type="radio"/>				
14 緑に関する市民、事業者の普及啓発	<input type="radio"/>				
15 生きものの生息場所となる緑の保全・創出	<input type="radio"/>				

自由意見

(22)立川市における緑の保全と創出の取組に対する意見や提案等がございましたら、自由にご記入ください。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

同封の封筒に入れ、令和6年1月10日（水）までに切手を貼らずにポストへ投函してください。